

第七十九回帝國議會
衆議院

國民更生金庫法中改正法律案外四件委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和十七年一月二十六日(月曜日)午前十時
三十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 上田 孝吉君

理事小林房之助君 理事小平 重吉君
理事中野 治介君 理事田中 亮一君

釘本 衛雄君

澤田 利吉君

陣 軍吉君

長谷 長次君

古屋 慶隆君

世耕 弘一君

渡邊 泰邦君

出席國務大臣左ノ如シ

岸 信介君

出席政府委員左ノ如シ

商工大臣

商工次官

商工省總務局長

商工省鑛產局長

商工省振興部長

燃料局事務官

燃料局事務官

燃料局事務官

燃料局事務官

燃料局事務官

燃料局事務官

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國民更生金庫法中改正法律案(政府提出)

帝國石油株式會社法中改正法律案(政府提出)

提出)

重要物資管理營運法案(政府提出)

帝國鑛業開發株式會社法中改正法律案

(政府提出)

帝國燃料興業株式會社法中改正法律案

(政府提出)

○上田委員長 ソレデハ是ヨリ國民更生金庫法中改正法律案外四件ノ委員會ヲ開キマ

ス、先ヅ商工大臣ノ説明ヲ求メマス

○岸國務大臣 本委員會ニ一括付託セラレ

マシタ國民更生金庫法中改正法律案外四件

ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由ヲ順次御説

明申上ゲマス

先ヅ第一ニ國民更生金庫法中改正法律案

ニ付テ申上ゲマス、中小商工業ノ再編成ニ

付キマシテハ、從來ヨリ重點主義ニ依ル生

產増強、物資配給ノ圓滑適正化ヲ目途トシ、

併セテ緊要産業部門ニ於ケル勞務ノ充足ニ

資スル方針ノ下ニ、企業ノ整理統合ヲ實施

シテ參ツタノデアリマス、大東亞戰爭ノ赫

赫タル戰果ハ我が國産業ノ前途ニ多大ノ光

明ヲ齎シテ居リマスガ、之ニ依リ近イ將來

ニ於テ中小商工業ニ及ボス物資不足ノ影響

ガ緩和セラルコトヲ期待スルコトハ時期

尙早デアリ、又將來諸物資ガ潤澤ニ供給セ

ラルコトヲ考慮ニ入レマシテモ、産業再

編成ノ必要性ハ毫モ減殺セラルコトハナ

イノデアリマシテ、必勝體制確立上、今後

益、中小商工業ノ整理統合ヲ推進スルコトハ

刻下ノ急務ト存ズルノデアリマス、此ノ企

業ノ整理統合ニ伴ツテ生ズル轉廢業者ニ對

シマシテハ、國民更生金庫ノ設置、同業者

ノ共助金ニ對スル國庫補助、其ノ他國民職

業指導所及ビ國民勤勞訓練所ノ設置等諸般

ノ施設ヲ講ジテ居ルノデアリマシテ、就中

國民更生金庫ハ政府ノ轉廢業施設中其ノ中

心トナルモノデアリマス、而シテ今後政府

ニ於テ急速ニ企業ノ整理統合ヲ實施致シマ

スル關係上、國民更生金庫ノ利用ハ急増ス

ルモノト豫想セラルルノデアリ、之ニ伴フ

國民更生金庫ニ對スル資産引受、共助資金

借入等ノ申込ハ約七億三千万圓ノ多額ニ上

ル見込デアリマス、然ルニ國民更生金庫ノ

現在ノ資本金ハ二千萬圓、更生債券ノ發行

限度ハ拂込資本金ノ十倍ニ過ギナイノデア

リマシテ、到底激増スル利用者ノ需要ニ應

ズルコトハ困難デアリマス、仍テ國民更生

金庫ノ資本金ヲ三千万圓増加シ、其ノ全額

ヲ政府出資トスル共ニ、更生債券ノ發行

限度ヲ拂込資本金ノ十倍ヨリ十五倍ニ擴張

シ、以テ其ノ資金ノ充實ヲ圖ラントスル次

付託議案

國民更生金庫法中改正法律案(政

府提出)(第四〇號)

帝國石油株式會社法中改正法律案

(政府提出)(第四一號)

重要物資管理營運法案(政府提出)

(第四二號)

帝國鑛業開發株式會社法中改正法

律案(政府提出)(第四三號)

帝國燃料興業株式會社法中改正法

律案(政府提出)(第四四號)

次ニ帝國石油株式會社法中改正法律案ニ

付テデアリマスガ、改正ノ第一點ハ、帝國

石油株式會社ノ資金調達ノ圓滑化ヲ圖ラン

トスルモノデアリマシテ、是ガ爲ニ帝國石

油株式會社ガ政府ノ認可ヲ受ケテ増資ヲ行

ヒマス場合ニハ、政府出資ヲ現行法ノ五千

萬圓ヲ超エテ出資シ得ルコト致シマスル

ト共ニ、帝國石油債券ノ發行限度ヲ、拂込株

金額ノ三倍ヨリ五倍ニ擴張セントスルモノ

デアリマス、現在帝國石油株式會社ノ資本

金ハ一億圓デアリマシテ、政府出資ハ其ノ

半額ニ限定セラレ、又帝國石油債券ノ發行

限度ハ拂込株金額ノ三倍ト定メラレテ居ル

ノデアリマスガ、南方油田開發ノ重大任務

ヲ擔當スベキ同社トシテハ、現在程度ノ資

金調達デハ不十分デアリマスノデ、之ヲ増

加セントスルモノデアリマス、尙ホ南方油

田開發ニ要スル資金ノ額並ニ其ノ時期等ハ、

現在ニ於キマシテハ未ダ決定致スコトハ不

可能デアリマスカラ、政府出資ノ限度ハ之ヲ撤廢致シマスルト共ニ、帝國石油債券ノ發行限度ヲ擴張セントスルモノデアリマス、改正ノ第二點ハ、帝國石油株式會社ノ副總裁一人ヲ二人ニ増員セントスルモノデアリマスガ、是ハ今後同社ヲシテ南方ニ進出セシムル爲メ同社ノ機構ヲ擴充整備シ、副總裁ノ一人ヲ二人ニ増員シ、其ノ一人ヲシテ南方ニ常駐セシムルノ途ヲ開カントスルモノデアリマス

次ニ重要物資管理營團法案ニ付テ申上デマス、今次大東亞戰爭ヲ克服シテ有終ノ成果ヲ收メマスガ爲ニハ、今後長期ニ亙ルベキ大規模ナル物資消耗戰ニ對處シテ國內戰時經濟ノ運營ニ一段ノ強化ヲ加ヘ、生産、配給、消費各部面ニ統制ノ徹底ヲ圖リマスト共ニ、特ニ重要物資ノ國內在庫ノ確保及ビ增強ト其ノ適切ナル利用ヲ講ジマスコトガ極メテ緊要ト認メラレルノデアリマス、豫テヨリ政府ト致シマシテハ、物資動員計畫ノ實施ニ關聯シテ將來ノ需要ニ備ヘ、機會アル毎ニ特別輸入乃至繰上輸入等ノ措置ヲ講ジ、海外ヨリノ早期輸入手當ヲ致シマシテ、現ニ國內ニ保有セラレテ居ル戰時緊要物資ハ相當多量ニ上ツテ居リマス、又其ノ他一般ノ國內在庫ニ致シマシテモ、未ダ相當大量ニ貯藏セラレテ居ルモノト考ヘラレル實情ニ在リマスルノデ、差當リノ問題トシテ是等國內在庫ノ增強確保ノ方策ヲ講ジ、事態ノ進展ニ伴ヒ、今後ニ於ケル海外取得物資、特ニ南方ヨリ輸入スル重要物資ノ管理及ビ其ノ有効利用ヲ圖ルコトガ急務ト認メラレルノデアリマス、更ニ戰時下ニ於ケル非常不測ノ事態發生ニ備ヘテ工業用各種原材料、生活必需品、防空用資材等各

般ノ物資ニ亙リ、是等ヲ綜合シテ地方分散ノ保管計畫ヲ運用致シマスコトモ緊要ナル事業ト考ヘラレルノデアリマス、而シテ是等ノ事業ハ何レモ既存ノ民間機關ニ之ヲ期待スルコトハ至難ナルモノガアリマスノデ、新タニ國家ニ代ツテ、敍上ノ使命ヲ遂行スル重要物資管理營團ヲ設立シマシテ、本營團ニ對シ特別ノ權能ヲ助成ヲ與ヘ、政府ノ適切ナル指導監督ノ下ニ重要物資ノ貯藏ヲ確保增強シ、其ノ利用ヲ有效且ツ適切ナラシメルコトヲ骨子トシマシテ本法案ヲ立案シタルモノデアリマス、本法案ノ要領ヲ申述ベテ見マス、第一ニ本營團ノ資本金ハ之ヲ全額政府出資トシ、且ツ政府ハ國債ヲ以テ出資ヲナシ得ルコトヲ致シテ居ルノデアリマスガ、右ハ其ノ事業ガ高度ノ國家的性格ヲ持ツカラデアリ、又營團ノ資本金額ヲ二千萬圓ト致シテ居リマスガ、右ハ營團ノ事業規模ヲ考慮シ、概ネ資本金ノ利息ヲ以テ其ノ事務費ヲ賄ハシメル方針ノ下ニ斯様ニ致シタルデアリマス、尙ホ營團ノ事業資金ノ調達ニ付キ、一般ノ營團法ニ見受ケラレマスルガ如キ債券發行ニ關スル規定ヲ設ケテ居リマセマスガ、右ハ營團ノ性質上概ネ短期ノ資金ヲ要スルノデアリマシテ、必要ナルトキハ借入金ヲ以テ賄ハシメル方針デアラカラデアリマス、第二ニ、本營團ノ國家代行機關タル本質竝ニ事業目的達成上ニ於ケル必要性ニ鑑ミマシテ、一定ノ者ニ付キ重要物資ノ保有狀況ニ關シ報告ヲ求メ或ハ檢査ヲナスノ權能ヲ認メ、又一定ノ者ニ對シ重要物資ノ保管ヲ請求シ得ル權限ヲ認ムルコトヲ致シテ居リマス、第三ハ、本營團ノ事業ハ直チニ物資動員計畫ノ内容ノ一部ト相成リマスル關係上、其ノ事業ニ關

スル基本計畫ハ政府ニ於テ之ヲ決定スルコトトシ、營團ハ右基本計畫ニ基キ實施計畫ヲ樹立運用スルコトヲ致シマシタ、其ノ他ノ點ニ付キマシテハ略、一般ノ營團法中ニ設ケラレテ居リマスル如キ諸規定ヲ設ケタノデアリマス

次ニ帝國鑛業開發株式會社法中改正法律案ノ提出理由ニ付テ申上デマスガ、同社ハ御案内ノ如ク、昭和十四年八月十日銅、鉛、亞鉛、錫、「ニツケル」「クロム」「マンガン」等金屬鑛物資源ノ開發ヲ目的ト致シマシテ、三千万圓ノ資本金ヲ以テ設立セラレマシタ半官半民ノ國策會社デアリマスガ、時局ノ進展ニ伴ヒ是等金屬鑛物ノ重要性ハ一段ト増加シテ參リマシタノデ、當社ハ其ノ設立ノ本旨ニ鑑ミ、或ハ自ら鑛山ノ經營ニ當リ、或ハ中小鑛山ニ對スル融資乃至投資ヲ行フ等ノ方法ニ依リ、休眠鑛區ノ開發乃至低品位鑛ノ處理ニ萬全ノ努力ヲ拂ツテ參ツタノデアリマス、然ルニ今般大東亞戰爭ノ勃發ヲ見、軍需資源トシテノ非鐵金屬ノ重要性ハ更ニ一段ト増加シタノデアリマシテ、之ニ伴ヒ同社ノ事業モ當然擴充セザルヲ得ザルコトトナツタノデアリマス、斯クノ如キ同社ノ擴充ニ備フル爲ニハ、同社ノ資金ヲ潤澤ナラシメ置ク必要ガアルノデアリマス、同社ノ資金調達ノ狀況ヲ見マスルニ、公稱資本金三千萬圓、内一千二百萬圓ノ拂込済ミデアリマシテ、拂込額ノ五倍タル六千萬圓ノ社債發行能力ヲ有シテ居ルノデアリマスルガ、社債ハ現ニ五千萬圓マデ發行済ミトナツテ居リ、而モ殘額一千萬圓ハ此ノ三月マデニ發行致シマスコトヲ決定致シテ居リマス、此ノ如キ事情デアリマスルノデ、同社ノ事業ヲ擴張致シマスルニハ、資金調達ノ上ニ改正ヲ加フルノ必要ガ起ツテ參ツタノデアリマス、即チ

今回ノ改正ノ第一點ハ、同社ハ帝國鑛業開發株式會社法第三條第二項ノ規定ニ依リ、政府ノ認可ヲ受ケ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得ルコトトナツテ居リマスルガ、此ノ場合ニ於キマシテ政府ハ現在ニ於ケル政府出資ノ限度額タル千五百萬圓ヲ超エテ出資シ得ルコトトスル點デアリマシテ、之ニ依リ同社ガ政府ノ認可ニ依リ増資ヲナス場合、政府ニ於テモ其ノ増資新株ヲ引受ケ得ルコトトシ、同社ノ資金調達ヲ容易ナラシメン

トスル趣旨デアリマス、次ニ改正ノ第二點ハ、現在同法第二十九條第一項ノ規定ニ依リ四分トナツテ居リマスル同社ノ配當補給金ノ限度ヲ年六分ニ引上ゲ、更ニ其ノ年限ガ現在ハ設立ノ年及ビ其ノ翌年ヨリ五年間トナツテ居リマスノヲ、十年間、即チ第二十一營業年度マデ延長致サウト云フ點デアリマシテ、同社ノ舊株ノ拂込徵收竝ニ増資新株ノ引受ヲ容易ナラシメ、資金調達上遺憾ナキヲ期スル趣旨ニ外ナラスノデアリマス、次ニ改正ノ第三點ハ、非訟事件手續法改正ニ伴ヒマシテ、本法ノ規定ヲ整理セントスルモノデアリマス

最後ニ帝國燃料興業株式會社法中改正法律案ニ付テ申上デマス、改正ノ第一點ハ、帝國燃料興業株式會社ガ政府ノ認可ヲ受ケテ増資ヲ行ヒマス場合、政府出資ヲ現行法五千萬圓ヲ超エテ出資シ得ルコトトセン

トスルモノデアリマス、人造石油製造事業ハ、我が國石油ノ自給確保ノ爲メ今後益々強化振興ヲ必要トスル次第デアリマスガ、帝國燃料興業株式會社ノ現在ノ資金計畫ハ資本金一億圓、社債發行限度ハ拂込株金額ノ五倍デアリマシテ、今後ノ事業ノ振興ニ對シマシテ不十分ナル實情ニアリマスノニ鑑

シマシテ、同社ノ資本金ヲ増加セントスルモノデアリマス、第二點ハ、帝國燃料興業株式會社ニ對スル配當補給金ノ限度ヲ擴張セントスルモノデアリマシテ、現行法ニ於キマシテハ、民間株主ノ拂込株金額ニ對シ年百分ノ六ノ割合ニ相當スル額及ビ當該營業年度ニ於テ支拂ヒタル燃料興業債券ノ利息額ヲ超ユルコトヲ得ザルコトヲナツテ居リマスル所、現下ノ金融情勢下ニ於キマシテハ、社債發行ヲ致スト共ニ相當程度ノ借入金ヲ爲スコトヲ必要トスル場合ガアリマスノデ、斯カル場合ニ借入金ノ利息額ヲモ配當補給金ノ範圍ニ加ヘントスルノデアリマス、其ノ他二點ニ於キマシテ、商法改正竝ニ非訟事件手續法ノ改正ニ伴フ關係條項ノ整理ヲ行ヒタイト考ヘルノデアリマス

以上ガ今回提出致シマシタ五件ノ法律案ノ骨子デアリマス、何卒慎重御審議ノ上御協賛アラシコトヲ希望致ス次第デアリマス

○上田委員長 一寸御諮リ致シマスガ、付託サレタル五案ノ中、國策會社關係ノ法律案デアアル帝國石油、帝國鑛業、帝國燃料、此ノ三案ヲ一括シ、重要物資管理營團竝ニ國民更生金庫ノ案ヲ一括シテ質問ヲシテ戴クヤウニシタラバドウデアラウカト思フノデアリマスガ、サウ云フヤウナ運ビニシテ御差支アリマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○上田委員長 ソレデハサウ云フヤウナ運ビニシテ、討論採決ニ付テハ又後日御相談致シマスガ、一應御質問トシテハサウ云フ風ニ取計ヒマス、御質問ハ何レ國民更生、重要物資ノ方ニ多イト思ヒマスルカラ、先ヅ質問ノ少イト思ハレマスル國策會社三件ノ分カラ質問ヲシテ戴クヤウニシテ行キタイト思ヒマス

ト思ヒマス

ソレカラ政府カラ資料ガ大分出マシタガ、尙ホ委員諸君カラ資料ノ要求ガアリマシタラバ今後モ要求サレテ差支ヘナイト思ヒマスガ、成ベク時期ニ遅レザルヤウニ御要求願ヒタイ、尙ホ只今ノ程度デ御要求ノ方ガアレバ、質問ニ入ル前ニ資料ノ要求ヲシテ戴キタイト思ヒマスガ、資料ノ要求ハアリマセスカ

○川俣委員 資料ハ委員長ノ手許マデ書イテ出シマスカラ、委員長カラ政府ノ方ヘ要求シテ戴キタイト思ヒマス

○上田委員長 承知シマシタ、ソレデハ委員會デ直チニ要求シテ戴イテモ結構デスガ、豫メ委員長ノ手許マデ資料ノ要求ノ控ヘヲ出シテ戴キマスレバ、整理スルノニモ都合ガ好イト思ヒマスカラ、左様御願ヒ致シマス——ソレデハ國策會社三案ノ質問カラ始メテ戴キタイト思ヒマス、小林房之助君

○小林(房)委員 南方占領地區ノ地下資源ヲ開發シテ行カウト云フノデ、國民ノ關心ガ其ノ方面ニ非常ニ向イテ居ルヤウデアリマスケレドモ、之ヲ以テ直チニ日本現在ノ必要ニ應ズルノニハ急場ノ間ニ合ハスノデヤナイカト思ヒマス、隨テドウシテモ現在内地ニ於ケル地下資源ノ開發ニ全力ヲ盡スコトガ最も必要ナコトデアリ、且ツ捷徑デアアルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、茲ニ於テソレ等ノ資源開發ノ爲ノ重大ナル使命ヲ持ツテ居ル國策會社、例ヘバ現在議題ニナツテ居ル帝國鑛發會社ノ如キモノガ、本當ニ現在ノ日本ノ地下資源開發ノ爲ニ、生産擴充ノ爲ニ、十分ニ其ノ機能ヲ發揮シテ居ルカドウカト云フコトニ對シテ、非常ナ疑ヒヲ持ツテ居ルノデアリマス、ドウ

云フ譯デソレ等ノ國策會社ガ十分ニ國策會社タルノ使命ヲ完全ニ果シ得ナイカト申シマスルト、帝國鑛發會社ノ如キ、會社ノ性格ガ一面ニ於テ國策會社デアアルケレドモ、一面ニ於テ營利會社デアアル、營利會社デアル以上ハ損ヲスル譯ニハ行カナイ、會社ノ經營ノ爲ニハ損ヲシナイヤウニヤツテ行ク、殊ニ鑛山開發ト云フコトハ、相當思切ツテ手段ヲ講ズルノデナケレバ開發モ増産モ出來マセス、此ノ山ハ是ダケノコトヲシタナラバ是ダケノモノハ出來ル、併シナガラ是ダケノ損ガ出ルノダ、損ハ出テモ國家ノ要請ノ爲ニハ出サナケレバナラヌト云フコトノ爲ニ、國策會社ガ思ヒ切ツテ働カナケレバナラヌノデアリマスルケレドモ、一面ニ於テ營利會社デアアル赤字ノ出ナイヤウニ損ヲセナイヤウニ、石橋ヲ叩イテ渡ル爲ニ、生産ノ増強ガ出來ナイノデハナイカ知ラン、斯様ニ考ヘマス、即チ帝國鑛發會社ハ一面ニ於テ國策會社デアアルケレドモ、一面ニ於テ營利會社デアアル、此ノ二ツノ性格ヲ持ツテ居ル鶴ノ状態ガ、此ノ會社ヲシテ十分ニ國策會社トシテノ地下資源ノ開發ノ使命ニ邁進シ得ナイ苦シイ立場ニ陷レテ居ルノデアルト私ハ解釋致シテ居リマス、隨テ帝國鑛發ニ致シマシテモ、或ハ日本産金ニ致シマシテモ、或ハ東北振興會社ニ致シマシテモ、斯ウ云フヤウナ鶴ノ性格ヲ離脱セシメ、寧ロ是等ノモノヲ解消シ、之ヲ打ツテ一丸トスル營團組織——營利ト云フコトヲ考ヘナイ、本當ニ國策ノ立場ニノミ立ツテ地下資源ノ増産ヲシテ行クト云フ營團組織ニシテ行クノデナケレバ、本當ニ國策ノ使命達成ハ出來ナイ、生産力ノ擴充ハ出來ナイ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、

政府ハ是等ヲ發展スルニ解消セシメテ、新ナル營團ヲ組織スル御考ヘハアリマセスカ、如何デアリマスカ

○岸國務大臣 大東亞戰爭完遂ノ爲ニ、國內鑛物資源ノ開發ガ極メテ緊要デアアル、此ノ爲ニ其ノ中心機關ニナツテ居ル國策會社ノ活動ノ不十分ナモノヲ十分ヤラスヤウニセヨト云フ御意見ニ對シマシテハ、私共全然同感デアリマス、正ニサウ致サネバナラヌト思ヒマス、今御指摘ニナリマシタ如ク、一面南方諸地域ニ於キマシテ、各種ノ鑛物資源ヲ確保スルコトニナリマシタケレドモ、中々各種ノ事情ハ急速ニ之ヲ開發シ、且ツ之ヲ國內ニ於テ利用スルコト云フ譯ニモ參リマセスノデ、ドウシテモ國內資源ノ開發ニ更ニ一段ノ力ヲ用ヒナケレバナラヌ、其ノ趣旨カラ、今御審議ニナツテ居リマスル國策會社ノ資金ノ充實、若シハ機構ノ擴充等ニ付テ考慮致シタ譯デアリマス、而シテ今御指摘ニナリマシタ是等國策會社ガ十分ニ其ノ使命ヲ果シ得ナイ、又過去ノ實績カラ見テ十分ノ活動ヲシテ居ラナイト云フ點ニ關シマシテモ、私共今日マデノ是等ノ各特殊會社ノ活動振リヲ見マスト、遺憾ノ點ガナイ譯デハナイノデアリマス、併シナガラソレニハ色々ナ事情ガ私ハアルト思フノデアリマス、今御指摘ニナツタ事柄モ一ツノ點デ——ト思ヒマスガ、其ノ他色々ナ點ガアルト思フノデアリマシテ、是等ノ點ニ關シマシテハ、從來ニ於キマシテモ是ガ改善ニ付テ力ヲ致シテ居リマスガ、今後ニ於キマシテモ特ニ力ヲ用ヒタイト思ヒマス、唯總テノ是等國策會社ヲ今直チニ發展ノ解消ヲセシメテ、營團組織ニ改組シテ行クト云フ御意見ニ付キマシテハ、私共直

チニサウスルト云フコトヲマダ申上ゲル時期ニ達シテ居リマセヌケレドモ、十分一ツ御趣旨ノヤウナ點ヲ研究致シテ見タイト考ヘマス、今日ノ所、必ズ營運ニ發展解消スルト云フコトハ申上ゲ兼ネマスルケレドモ、御意見ノ點ニ付キマシテハ十分今後研究シテ見タイト考ヘテ居リマス

○小林(房)委員 此ノ改正案ヲ見マスルト、配當補給ガ増率サレテ居マスガ、是ハ配當ノ補給ノコトデアリマシテ、配當ノ保證、「ギヤランテイ」デハアリマセヌ、隨テ配當ノ補給ヲ得ルニ付キマシテモ、其ノ金額ノ最高限度ハ決ツテ居ルコトニ相成リマス、隨テ會社ガ損ヲ餘計ニ出シタノデハ配當ガ出來ナイコトニナルデアリマスカラ、ドウシテモ營利會社タル性格カラ損ヲ出スコトヲ避ケルヤウニ努メル、隨テ消極的ノ經營ニ墮スルコトハ已ムヲ得ナイト思フノデアリマスルガ、併シナガラ之ヲ救済スル方法トシテ、此ノ會社ノ經營ニ對シテ損失補償ヲスルコトガ必要デアルト思フノデアリマス、昨年ノ何月デシタカ、新聞デ見タノデアリマスガ、何處カノ小サイ山——水銀デスカ、錫デスカ、サウ云フ山ノ經營ヲ政府カラ指令シテ、ソレニ對シテ僅カ三十万カソコラノ損失補償ヲスルト云フ命令ガアツタヤウニ新聞デ承知シタノデアリマス、資料ニ依ツテ見マスと帝國鑛發ハ可ナリノ山ヲ經營シテ居リ、又委任經營ヲシテ居ル、是等ノ山ト云フモノハ必ズシモ計算ガ立ツモノトハ思ハレマセヌ、生産力ノ増加、地下資源ヲ現實ニ増産シテ行ク爲ニハ、政府ハ是等ノ鑛山ヲ積極的ニ經營開發セシメル、ソレニ依ツテ生ズル損失ハ政府ガ之ヲ補償スルト云フコトデナケレバナラスト思フノデア

リマスルガ、之ニ對シテハ如何ナル御方針デアリマスルカ

○岸國務大臣 御趣旨ハ全然同感デアリマシテ、實ハ帝國鑛業開發株式會社法第二十四條ト云フ規定ガアリマシテ、損失補償制度ノ規定モ設ケラレテ居ルノデアリマス、今マデ十分ニ活用サレテ居ラナカッタヤウデアリマスガ、今御指摘ニナツタヤウナ場合ニハ、同規定ノ發動ニ依ツテ或ル仕事ヲ此ノ會社ニ命ジマシテ、是カラ起ル所ノ一切ノ損失ヲ補償スルト云フ制度ヲ本年度カラ十分活用シテ参リタイト思ヒマス、現ニ具體的ニ事務的ニハ數件ノモノニ付テ考慮致シテ居リマス、十分サウ云フ御趣旨ニ從フヤウナ運用ヲシテ参リタイト考ヘテ居リマス

○小林(房)委員 只今ノ御答辯ノ損失補償ハ、帝國鑛發ノ經營シテ居ル山ノ一部分ニ對シテ御指定ニナルノデアリマスルガ、會社全體ノ山ノ經營ニ對シテノ損失補償ヲ言フノデアリマスルカ、其ノ間ノ融通ト言ヒマスカ、流用ト言ヒマスカ、彈力性ヲ御認メニナルノデアリマスカ、如何デアリマスカ、茲ニ其ノ金額ガ大體分ルヤウデシタラ御答辯願ヒマス

○岸國務大臣 會社全體ノ經營ニ對シマシテハ配當補給ノ制度デ參ル積リデアリマス、又サウ云フコトニナツテ居リマス、今申シマシタ損失補償制度ノ運用ハ會社ノ事業ノ一部、即チ或ル事情ガ國家的ニ見テ非常ニ緊要デアルト云フ仕事ヲ特ニ會社ニ命ジテヤラセル場合ニ於キマシテ其ノ事業ノ部分ダケニ付キマシテ損失ヲ補償スル考ヘデアリマス、此ノ金額ニ付キマシテハ、十六年度ハ實ハ比較的少ウゴザイマシテ、四十万圓

ヲ豫備金デ支出スルコトニナツテ居リマス、十七年度分ニ付キマシテハ、千二百萬圓ノ豫算外契約ヲ締結スルコトニナツテ居リマス

○小林(房)委員 十七年度一年デ一千二百萬圓ト云フコトニナリマスと可ナリノ金デアリマスガ、帝國鑛發ガ出來テカラマダサウ大シテ年月ガ経タナイノデアリマスカラ、今マデノ經營ニ對スル損失ノ高ハサウ大シテ現ハレテ來ナイカモ分ラスト思ヒマス、併シソレダケノ損失補償ヲヤルト云フノデアルナラバ、私ハヤハリ會社全體ガ現在現實ニ經營シテ居ル事業其ノモノニ對シテ損失ヲ補償シテヤルノデナケレバ、思ヒ切ツタ經營ハ出來ナイト思フ、是ダケノ部分ハ損失補償ヲスルノデアル、他ノ部分ハ知ラナイト云フコトデハ、會社全體ノ運營及ビ増産ノ上ニ於テハ十分目的ヲ達スルコトガ出來ナイト思フノデアリマス、是ハマダ方針ガ本當ニ御決マリニナツテ居ナイナラバ、全體ヲ見テヤルト云フコトニシナケレバナラスト思ヒマスガ、サウ云フコトニ對スル御考ヘヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○岸國務大臣 先程千二百萬圓ヲ十七年度ノ豫算外國庫負擔契約トシテ今議會ニ提案致シテ居ルト申シマシタガ、右ハ少シ不十分デアリマシタノ訂正シテ置キマス、是ハ十七年度及ビ十八年度ニ於テ生ズベキ損失ノ補償ノ總額デアリマシテ、二箇年分ニナツテ居リマス、尙ホ全體ノ點ニ付テヤハリ同様ナ損失補償デ行クベキデハナイカトノ御意見デアリマスガ、會社經營ノ全體ニ付キマシテハ配當補給制度デ參リマス、今後新シク積極的ニ必要トスル部面ニ於テ、今御指摘ニナツタヤウナ消極的ニ墮スルコトナク、積

極的ニ重要鑛山資源ヲ開發スルコトニウント力ヲ入レシメル意味ニ於キマシテ、損失補償制度ニ付キマシテハ、今後積極的ニ吾方カラヤラセルモノニ付テ之ヲ行ツテ行ク、會社全體ノ經營ニ付キマシテハ配當補給制度ノ運用ニ依ツテヤツテ行ク、斯ウ云フ二本建デ参リタイト考ヘテ居リマス

○小林(房)委員 配當補給制度ニ依ツテ會社經營ノ損失ヲ補填シテヤルト云フ御趣旨ハ能ク承知ガ出來マスケレドモ、是ハ配當ノ補給デアツテ保證デナイ、「ギヤランテイ」ヲスルト云フコトデアツテコソ、初メテソコニ會社經營ノ安全ト云フモノガ期セラレケレドモ、「ギヤランテイ」デナイ補給デアラナラバ、大膽ナル經營、思ヒ切ツタ増産計畫ヲ遂行スルコトハドウカト云フ疑ヒヲ持ツノデアリマス

次ニ御尋ネ致シタイコトハ、只今御話ノ損失補償ハ、帝國鑛發自體ノ經營シテ居ル鑛山、而モ其ノ中ノ政府ガ指定サレルモノニ對スル損失補償デアリマスガ、更ニ一段進メテ帝國鑛發ガ十分ナル調査ヲシ、十分ナル注意ヲ拂ツタ上デ、是ナラバ増産ノ見込ガアル、是ナラバ開發シテ國家ノ必要ナル資源ヲ供給シ得ル見込ガアルト云フ山ニ對シテ資金ノ融通ヲスル場合ニ於テハ、之ニ對シテモ損失補償ヲシテヤラナケレバ本當ノ増産ハ出來ナイト思ヒマス、國家ガ損失ノ補償ヲスルノハ、單ニ帝國鑛發ノ經營シテ居ル鑛山ダケデハナク、今日國家ノ要請ニ應ズル資源ノ開發増産ハ、日本全國ニ互ル中小鑛山ノ開發ニ依ラナケレバ到底必要ナル資源ヲ賄フコトガ出來ナイト思ヒマス、而モ其ノ中ニハ相當見込ノアル、相當品物

ノ出ルモノガアルニ違ヒナイ、而モソレ等ハ帝國鑛發ノ經營デハナイノデアリマスカラ、廣ク是等ノ中小鑛山ニシテ十分地下資源ヲ開發シ得ル見込ノアル山、而モソレニ對シテハ金ガナイ、是等ノ金融ノ爲ニ帝國鑛發ガ金ヲ出ス、而モ十分ナル調査ヲシ、十分ナル注意ヲシテ、是ナラバ間違ヒガナイ、併シナガラ山ノコトデアリマスカラ、ヤツテ見テドウ云フ結果ガ起ルカモ知レナイ、サウ云フモノニ對スル融資、是ハ増産ノ爲ニ働イテ居ルモノデアリマスカラ、國家ハ當然ニ對シテ損失補償ヲスル、此處マデ來ナケレバ、地下資源ノ開發、増産ハ出來ナイト思フノデアリマス、只今申サレシタ千二百萬圓ノ損失補償ハ、帝國鑛發ガ融資ヲシテ居ルモノニ對スル損失ノ補償ニモ之ヲ振向ケルベキモノデアルト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○岸國務大臣 其ノ點ハ、大體損失補償ヲ

シマス場合ニハ、帝國鑛發ヲシテ受託經營ヲセシメテ、此ノ場合ノ損失ヲ補償スルト云フ形式ヲ執リタイト思ツテ居リマス、御話ノヤウナ山ニ對シマシテ、ソレノ經營ヲ帝國鑛發ヲシテ受託經營ヲセシメマシテ、サウシテ中小鑛山中適當ナ山ノ事業ヲ積極的ニ行ハシメル、ソレニ付テハ帝國鑛發ノ受託經營ノ形式ヲ執リタイト思ヒマス、今御指摘ニナリマシマヤウナ、帝國鑛發自體ガ貸付ヲスル場合ニ於キタシテハ、今ノ所損失補償制度ノ事柄ヲ其ノ形式デハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、唯ソレカラ生ジテ參リマス損失ニ付キマシテハ、全體ノ配當補給ノ形ニ現ハレテ來ル部分ニ付キマシテハ、配當補給ヲスルコトハ當然デアリマスケレドモ、損失補償ノ點ニ付キマシテハ

ヤハリ帝國鑛發ガ或ル程度マデ技術的ニモ經營的ニモ責任ヲ持ツテヤル、ソレニ付テノ損失ヲ補償スル、併シハ帝國鑛發ガ持ツテ居ル自山ニ付テハ大體考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、主トシテ中小鑛山ノモノヲ受託經營ノ形式デヤルト云フ場合ヲ考ヘテ居リマス、御承知ノ通り中小鑛山ニ付キマシテハ、特ニ技術力デアルトカ、或ハ其ノ他ノ經營ノ上ニ於キマシテ、從來比較的弱點ヲ持ツテ居ツタモノガ多イノデアリマシテ、之ニ帝國鑛發會社ノ持ツテ居リマス經營力ナリ、技術力ナリヲ加ヘテサウシテ積極的ノ開發ヲ圖ル、斯ウ云フ考ヘデ、サウ云フ形式ニ依ツテ損失補償ヲヤル、斯ウ考ヘテ居リマス

○小林(房)委員 現在經營シテ居ル中小鑛

山デ、技術力及ビ資金其ノ他ニ付テ弱イモノハ受託經營ノ形式デヤツテ損失補償ヲ認メルト云フ御趣旨ハ能ク承知ガ出來ルノデアリマスガ、併シ必ズシモ技術及ビ資材ニ於テ弱クナイ、兎モ角モ小ジシマリトシテ經營ノ出來テ居ル山モアリ得ルト思ヒマス、斯ウ云フモノヲ無理ニ委託經營ノ下ニ入レデシマツテ、損失補償ハ結構デアアルガ其ノ形式デヤツテ行ツテ却テ從來ノ増産シテ行クベキ傾向ヲ阻止シハシナイカ、ヤハリ今マデ通りヤラシテ行ク方ガ増産ガ出來事業ノ經營ヲ圓滑ナラシメルノデアツテ、ソレニ對シテハ、思ヒ切ツタ損失補償ヲソコニ認メテヤルヤウニシテ行クノデナケレバナラスト思ハレルノデアリマスガ、之ニ對シテハ如何デセウカ、モウ少シ腑ニ落チヌ所ガアリマス

タヤウナ、獨リデ小ジシマリヤツテ居ル、經營モ技術モ其ノ山ニ適應シタ相當ナモノヲ以テヤツテ居ル、唯擴張シテ行クノニ必要ナ資金ガナイトカ、或ハ其ノ擴張ニ必要ナ資材ガ、資金ガ手ニ入ラス爲ニ手ニ入ラスト云フヤウナコトカラ、積極的ニ伸ビテ行カナイ、而モソレヲ經營シテ居ル所ノモノハ、經營ニ於キマシテモ技術ニ於キマシテモ、小ジシマリシテ相當ノモノヲ持ツテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、之ヲ帝國鑛發デ何デモ彼デモ委託經營ノ形ニ持ツテ行クト云フ事柄ハ、御趣旨ノ如ク其ノ鑛山ニ携ツテ居ル人々ノ自發的ナ創意ニ依ツテ大イニソレヲ擴張シテ行カウト云フ熱意ヲ失ハシメルモノデアリマシテ、サウ云フコトヲ無理ニスベキモノデアリコトハ御意見ノ通りデアリマス、サウ云フ場合ニハ帝國鑛發カラ金ヲ貸スト云フ形式ニナルコトハ當然デアリマス、其ノ場合ニ、ソレデハ帝國鑛發ノ方カラ金ヲ貸スノニ付キマシテ、積極的ニ貸シテ呉レナイ、四ノ五ノ言ツテ貸サナイト云フヤウナ處レハナイカト云フ問題デアリマスガ從來帝國鑛發ノ資金ノ投資、融資等ニ付キマシテモ色々御意見モ承ツテ居リマス、併シ鑛發ノ首腦部ト致シマシテハ、サウ云フ風ナ技術力、經營力

山ガ兎ニ角中小鑛山トシテ相當ナ狀況ニアルト云フヤウナコトデアレバ私ハ資金ノ融通若シクハ投資等ノ事柄ニ付キマシテハ、特ニ損失補償ノ問題ヲ取上ゲナクとも、一般配當補給制度ノ運用ノ程度デ、十分ニ此ノ國策會社ノ使命トシテ金ノ貸付ハ積極的ニ致スモノダト考ヘマスシ、又致サセリヤウニ十分ナ監督ナリ指導ナリヲ致シテ行ク考ヘデアリマス

○小林(房)委員 サウ云フ適當ナ山ニ對シ

テハ積極的ニ資金融通ヲサスモノデアリ、又サシテ行カナケレバナラスト云フコトハ當然デアリマスガ、ソレガ思ヒ切ツテ出來ナイト云フ原因ハ、先程私ガ申シタ營利會社デアルト云フ性格ガ禍ヒヲシテ居ルノダト思フノデアリマス、ソコガ根本ノ問題デ、營利會社ガカラ損ハ出來ナイ、而モ片方ニ於テ國策會社ガカラ思ヒ切ツテ金ヲ出セト言ツテモヨウ出サナイ、ソコニ鵠の性格ガ禍ヒシテ、本當ノ國策會社トシテノ使命ガ達成出來ナイ、原因ハ私ハソコニアルト思フ、ソコニ「メス」ヲ入レテ改變ヲシテ行クノデナケレバ、本當ノ働キハ出來ナイト思フノデアリマス、之ニ對シテ重ネテ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

モウ一ツハ、今度ノ議會ニ出テ居リマスル

戰時金融庫ト此ノ帝國鑛發會社トハドウ云フ關係ヲ持チマスカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、戰時金融庫ハ帝國鑛發會社ヲシテ其ノ業務ノ一部ヲ取扱ハシメルト事フコトニデモナルノデアリマスカ、或ハ又帝國鑛發會社ガ有望ナル、而モ國家ノ要請ニ應ジ得ル鑛山ノ開發資金ヲ、先程言フ營利會社タルノ性格ニ禍ヒサレテ思ヒ切ツテヨウ出サスト云フ場合ハ、此ノ戰時金融庫カラ之ヲ融資シテサウシテ必要ナル資源ノ開發ニ從事セシメルト事フコトニデモナサレルノデアリマスルカ、此ノ點ハ如何デアリマス

○岸國務大臣 最初カラ一貫シテ帝國鑛發

ノ組織其ノモノノ根本カラ、國策會社トシテノ鑛山開發ニ付キ積極的ナ活動ニ支障ヲ來シテ居ル點ニ付テノ御意見ニ對シマシテハ、先程御答ヘ申シマシタ如ク私共十分一

ツ今後研究致シテ参リタイト考ヘマスガ、併シ一面礦業ト云フヤウナ事業ハ、國家ノ必要カラドシ、積極的ニナサシメナケレバナラナイコトハ當然デアリマスガ又山自身ノ性質カラ申シマシテ、相當此ノ方面ニ専門的ナ知識ヲ持チ、相當ナ見識ヲ持ツテ是ガ開發ノ仕事ヲ進メテ行ク必要モ一面ニ於テ非常ニアルノデアリマス、是ハ一面カラ國策會社タル是等ノ會社ガ融資投資ガ必要ナ所ニ十分ニ行カナイト云フ非難モアリマスガ、一面ニ於テハ少シ放漫ナ貸付モシテ居ルト云フヤウナ非難モアルノデアリマス、是ハ實ハ山其ノモノノ本質カラ來ルモノデアリ、隨テ是ノ經營ニ當ルベキ人間ハ山ニ付テノ相當ナ經驗ヲ持チ、相當ナ見識ヲ持ツテ居ル必要ガアルト思フノデアリマス、私共此ノ見地カラ帝國礦發其ノ他日本產金等ノ經營者ニ付キマシテハ、十分其ノ人選ニ付テサウ云フ點ニ重キヲ置イテ、而モ是ガ運用ニ付キマシテハ今御指摘ニナリマシタヤウニ、積極的ニ必要ナ部面ニ關シマシテハ必要ナ資金ヲ十分出シテ行クト云フコトガ、是ハ勿論國策會社ノ本來ノ使命デアリマス、其ノ點ニ付テハ十分遺憾ノナイヤウナ監督指導ヲナシテ参リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

尙ホ今回提案サレテ居リマス戰時金融金庫ト是トノ關係デアリマスガ、大體私共礦業ノ問題ニ關シマシテハ、礦山ノ關係ニ於キマシテハ帝國礦發、金ノ關係ニ於キマシテハ日本產金ト云フモノガ特別ノ使命ヲ持ツテ、國家ノ相當ナ保護ト助成ノ下ニ是等ノ事業ノ積極的開發ニ付テ力ヲ用エルト云フ制度ニナツテ居リマスノデ、出來得ル限り是等ノ機關ノ足ラザル所ハ是等ノ機關自身

ヲ補強シ、是ノ監督指導ヲ十分ニシテ、此ノ方面デ其ノ目的ヲ十分ニ達スルヤウニ持ツテ参リタイト考ヘテ居リマス、隨テ一應戰時金融金庫ニ於キマシテハ、既ニ斯ウ云フ特別ノ機構ガ設ケラレテ居ル部面ニ付キマシテハ特ニ其ノ活動ヲ考ヘテ居ラナイノガ現在ノ提案ノ趣旨ニナツテ居リマス、併シ法律論トシテ絕對ニ出來ナイト云フ問題デハナイト思ヒマスケレドモ、主トシテ特殊ノ國家的機構ガ設ケラレテ居ルモノハ、其ノモノヲ十分活用シテ行クト云フ建前ヲ飽クマデ取ツテ参リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○小林(房)委員 サウスルト、戰時金融金庫ハ、大臣ノ認可ヲ得タル銀行又ハ主務大臣ノ指定スル者ヲシテ業務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得ト云フ規定ガアリマス、戰時ニ際シテ生産擴充ノ爲ニ必要ナル資金ニシテ他ノ金融機關カラ供給ヲ受クルコト困難ナモノニ對シテハ、戰時金融金庫ヲ利用セシメルノデアリカラ、今言フヤウニ帝國礦發ガ本當ニ礦山資源開發ノ爲ノ金融ヲ十分ニナシ得ナイト云フコトデアレバ、當然此ノ戰時金融金庫ガ其ノ部面ニ活用サレテ行クダケノ彈力性ヲ持ツテ居ルノデナケレバ、私ハ本當ニ礦山資源ノ開發ハ出來ナイト思フノデアリマス、ソレハモウ帝國礦發ガアルカラ此處ダケデヤツテ行クノダ、一切他ノ機關ハ礦山開發ノ爲ニハ活用セシメナイノダト云フヤウナ窮屈ナ考ヘデハイケナイト思フノデアリマス、是ハ必ズシモ左様ナ窮屈ナモノデナイト思ツテ居リマスケレドモ、ソコニ彈力性融通性ガオアリニナルノデアリマセウカ

○岸國務大臣 其ノ點ハ御承知ノ通り、從來帝國礦發ヤ日本產金ガ出來マス前カラモ各種ノ金融機構ハアツタ譯デアリマスケレドモ、一般金融機關ノ是等中小礦山ヘノ金融ト云フコトハ殆ド不可能デアリマシテ、實際上利用出來ナカツタノデアリマス、ソコデ斯ウ云フ特別ノ組織ヲ設ケタ譯デアリマシテ、礦山ノ問題ハ先程モ申上ゲマシタ通り、一般ノ事業ト違ツテ中々危險性モアリマスシ、色々ナ點ガアリマスノデ、一般金融機關トシマシテハ、從來ト雖モ此ノ方面ニ金融ガ出來ル建前ニハナツテ居ツテモ、中々金融ヲシナイト云フノガ實情デアツタノデアリマス、ソレデ斯ウ云フ特殊ノ國策會社ヲ設ケタ譯デアリマスガ、此ノ國策會社ガ完全ニ其ノ使命ヲ完遂シテ居ルトスルナラバ、今小林委員ノ御質問ニナツタヤウナ他ノ機關ノ御世話ニナル必要モナク、十分ニ出來ルト思フノデアリマス、吾々トシテハ第一段ニソコニ主眼ヲ置イテ、飽クマデ是等ノ機關ヲシテ其ノ使命ヲ果タサシムルコトニ凡ル努力ヲ傾注スベキモノデアルト云フコトヲ先程申上ゲタ譯デアリマス、唯併シ戰時金融金庫ハ、礦山ノコトニハ絕對ニ手ヲ出スコトハ相成ラヌト云フヤウナ考ヘ方ヲ持ツテ居ル譯デハナイノデアリマシテ、礦山ノ特殊ノ點カラ申シマシテ、假ニアア云フ金庫ガ出來ルト云フコトニ致シマシテモ、礦山金融ト云フ特別ノ點カラ見ルト、專門ノ者デナイト頼ミニ参リマシテモ十分ナ利用ガ中々難カシカラウト思ヒマスノデ、第一段ニハ飽クマデ斯ウ云フ特殊ノ使命ヲ持ツタモノヲ擴充シ、之ニ全力ヲ舉ゲル、併シ戰時金融金庫ガ絕對ニ使ハレストカ、或ハ是ガ全然礦山金融ノ方ニ手ヲ出スコトハ相成ラヌト云フヤウナ制

限的ナ考ヘヲ持ツテ居ル譯デハナイノデアリマス、其ノ點ハ誤解ノナイヤウニ御願ヒ致シマス

○小林(房)委員 礦山金融ト云フモノハ特殊ノモノデアリマシテ、昔カラ礦山ニ金ヲ貸シテ返ツタコトハナイト言ハレル程面倒ナモノデアリマス、ソレダカラコソ帝國礦發ガ出來タノデ是ハ當然ナコトデアリマスガ、ソレダケ礦山金融ト云フコトニ付テハ出來ルダケ此ノ礦發會社ヲシテ其ノ使命ヲ達成ニ邁進セシメ得ルヤウニ、或ハ先程ノ損失補償ノ如キ、或ハ思ヒ切ツテ十分ニ融資ヲシテ、礦山ノ開發ガ出來得ルヤウニ經營ヲ差向ケテ行クヤウニ折角監督ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○上田委員長 次ニ渡邊泰邦君、國策會社ノ分ニ付テ御質問ヲ願ヒマス

○渡邊(泰)委員 私ハ燃料ノコトニ付テ一寸御伺ヒヲ致シタイト思ヒマス、今度帝燃ガ非常ニ政府ノ補助ヲ得マシテ、更ニ活潑ナル活動ヲスルヤウデアリマスガ、石油ハ南方デモ相當開發スル、然ルニ帝燃ノ資本金ヲ更ニ増シテヤラナケレバナラヌ理由ノモノハ、人造石油ト云フモノガ此ノ情勢ニ於テハドウシテモ必要ダト云フ見地カラ來テ居ルノダト思ヒマス、ソレニ付テハ學者ノ間ニモ色々説ガアリマシテ、例ヘバ世界ノ石油ノ埋藏量ハ「シリヤ」或ハ「コーカサス」方面ハ十五年、或ハ「アメリカ」ノ石油ハモウ二十年デナクナル、或ハ南方ノ石油ハ現在ノ儘デ掘ツテ行ケバモウ二十五年デナクナルト云フヤウニ、年限ニ付キマシテハ種種見方ガアリマスガ、サウ云フ學者ノ間ニハ一定ノ説ガアリマシテ、ドウシテモ天然

石油ニバカリ依存スルコトハ出來ナイ、今後ノ軍備其ノ他ノモノモドウシテモ人造石油ニ依ラナケレバナラヌト云フ原因ヲ茲ニ求メテ居ルダラウト思フノデアリマス、勿論全部ノ理由デハアリマス、ソレガ重要ナ原因ニナツテ居ルト思フノデアリマス、隨テ商工省ノ燃料ヲ研究セラレル方ニ於キマシテハ、今世界ノ埋藏シテ居ル石油ガ、此ノ狀態ヲ消費サレテ行ケバ大體下ノ位デ盡キルト云フ風ニ考ヘテ居ラレカ、例ヘバ「バクー」ノ油田ハ下ノ位ノ命脈ガアル、南方ノ油田ハ下ノ位ノ命脈ガアルト云フ位ノ多少ノ研究ガアルコト思ヒマスカラ、其ノ點ニ於テ言ハレ得ル範圍ニ於テ御聽カセ願ヘレバ大變結構ダト思ヒマス

口ニ油ト申シマスケレドモ、液體燃料ノ中デ特殊ノ性質ヲ持ツテ居ルモノノ必要トナツテ參ツテ居リマス、是等ノ質的ノ點カラ見マシテモ相當量ノ人造石油ノ事業ヲ確立シテ、是カラ其ノ供給ヲ得ナケレバナラヌト云フ點モアルノデアリマス、又是ハ液體燃料自體ノ見地デハアリマセヌケレドモ、御承知ノ通り人造石油ノ事業ト云フモノハ非常ナ高イ、而モ複雑ナ技術ヲ必要トスルノデアリマシテ、斯ウ云フ事業ガ確立シテ居ルト云フ事柄ハ、之ニ關聯シテ其ノ國ノ工業ノ「レベル」ヲ高度ニ維持スル上カラ申シマシテモ、單ニ化學工業ノ部門ノミナラズ、機械工業ノ部門ニ於キマシテモ、斯ウ云フ事業ガ成立ツテ居ルカ、成立ツテ居ラスカト云フ事柄ガ、非常ニ其ノ國一國ノ工業力ニモ關係ヲ持ツテ參ルヤウナ性質モアルノデアリマス、液體燃料ノ見地カラ、又サウ云フヤウナ見地モ加味シマシテ、相當量ノ人造石油事業ヲ確立スルコト云フ事柄ハ、此ノ際極メテ急務デアルト考ヘテ居リマス

○**渡邊(泰)委員** 大體御話ハ分ルノデアリマスガ、今御話ノ特殊ノ人造石油ヲ造ルニハ特殊ノ石炭ガ要ルノデアリマシテ、其ノ石炭ノ分布狀態ハ御研究ダラウト思ヒマス、ソレヲ一々此處デ御尋ネスル譯ニモイカヌ情勢デハアリマス、大體其ノ特殊ノ人造石油ヲ造ル特殊ノ炭、其ノ炭ノ埋藏量ト人造石油ノ世界ノ埋藏量トノ比率ヲ燃料局デハ御研究ダラウト思フノデスガ、ソレガ此ノ人造石油ヲ補助シタリ或ハ増資シタリスル「プロメーター」ニナルノデヤナイカト私ハ考ヘテ居ルノデス、其ノ點ハ若シ御發表ガ差支ガアリマスレバ強ヒテ御聽キスル譯デヤアリマセヌガ、其ノ特殊ノ人造石油ニ要スル石炭ノ埋藏量ヤ其ノ他ニ付キマシテハ大體御心配ナイノデセウカ、其ノ量ヲ御聽キスルノデヤナイノデスガ……

○**岸國務大臣** 人造石油ト一口ニ申シマスガ、御承知ノ通り之ヲ造リマス方法トシテハ色々ナ方法ガアルノデアリマシテ、其ノ或ル方法ニ付キマシテハ、之ニ最モ適當シタ炭質ノ石炭ヲ必要トスルコト云フヤウナモノモアリマスガ、他ノ方法デ之ヲヤル時ニ於キマシテハ石炭ノ炭質ニ影響サレナキト云フヤウナ點モアリマシテ、凡ユル方法ヲ日本ト致シマシテハ取入レテ、是ノ工業化ヲ圖ツテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ特別ノ性質ヲ持ツテ居ル石炭ガ特定量ナケレバ、人造石油ト云フモノノ特定量ヲ確保スルコトハ出來ナイト云フヤウナコトニハナラナイヤウニ、凡ユル技術、方法ヲ取入レテ、是ノ綜合ニ依ツテ必要ナ人造石油ヲ造ツテ行カウト考ヘテ居リマス

○**渡邊(泰)委員** 燃料局ノ御方ニ一寸御願ヒシテ置キタイノデスガ、後デ宜ウゴザイマスカラ、世界ノ石油ノ將來ニ對スル學者ノ學說ハ澤山アルノデス、世界中ノ學者ノ說ガアリマスガ、大體燃料局トシテハドウモサウ云フコトハ分ラヌ、唯成行デ行クノダト云フコトデヤナク、ドレガ一番妥當ダト云フヤウナ考ヘ方ガアルダラウト思フノデス、ソレヲ一ツ發表シ得ル機會ニ聽カセテ戴キタイ、ソレカラ石炭ノ埋藏量ニ付テ、是ト比率ヲ取ツテ色々ナ會社ノ方針ヲ、増資シタリ補助シタリシテ決メルノダラウト思ヒマス、其ノ根本原因ヲ御調ベニナツテ居ルト存ジマスガ、發表シ得ル機會ニ一ツ御願ヒシタイ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○**上田委員長** 川俣委員ノ質問ハ一寸長イサウデスカラ末松サシノ質問ハ簡單デスカ

○**末松委員** 自分ノ質問ハソシナニ時間ハ掛リマセヌ

○上田委員長 掛ラナケレバ午前中ニヤツタラドウカト思ヒマス——末松君

○末松委員 只今カラ色々渡邊君カラ御話モアツタヤウデアリマスガ、此ノ人造石油ノ製法ニ關スル「フイッシャー」法トカ、色々「パテント」ガアリマスガ、日本デ研究シテ居ル人々ノ間デモ同ジヤウナ研究ヲ重複シテヤル、又或ル程度ノ研究マデ行ク途中デヤハリ此ノ重複ガ起ルト云フヤウナコトガアルサウデ、曩ニ樺太ノ此ノ種ノ會合ノ際ニ其ノコトヲ——是ハモウ數年前デスガ非常ニ論ゼラレタヤウデアリマスガ、今各會社ノ研究方法ニ對シテハ、帝國石油デ之ヲ纏メテ、既ニ研究シテ部分ニ付テハオ互ニ協定シテ其ノ研究ヲ利用スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマセウカ、如何デアリマセウカ

○榎本説明員 今ノ研究ニ關シマシテハ、人造石油關係ノ研究機關ハ軍官民合セマシテ三十箇所アリマス、是ハ十分緊密ナル連絡ヲ取ルヤウニ、毎年一回宛總會ヲ開イテ各研究ヲ忌憚ナク發表、討議ヲ致シテ居リマス、尙ホ各詳細ナル技術ニ關シマシテハ分科會ヲ開キマシテ、是亦非常ニ立入リマシテ詳細ナル研究ノ討議、發表等ヲ致シテ居リマス、尙ホ特許製造技術デ完成サレマシタ製造技術ハ、人造石油製造技術組合ト云フモノヲ結成致シマシテ、日滿ノ全人造石油業者ガ参加ノ下ニ、他ノ如何ナル技術デモ御互ニ利用出來ルト云フ仕組ニナツテ居リマス、全業者ガ協力シマシテ製造技術育成、是ノ遺憾ナキ活用ヲ期シテ十分ノ效果ヲ擧ゲテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス

○末松委員 以前ハサウ言ヒナガラドウモ各會社ノ秘密ト云フヤウナ部分ヲ、兎角十分ニ一般ニ共通的ニ利用シナカッタヤウナ傾キガアツタヤウデアリマスガ、今全然サウ云フ點ニ付テ各會社モ腹藏ナク自分ノ研究資料ヲ示シテ、一般的ニ利用スルコトニナツテ居リマスガ

○榎本説明員 ナツテ居リマス、唯人造石油ノ技術ハ非常ニ機密ニ互ル部分モアリマスルノデ、一般ノ技術ノヤウニ簡單ニ公開ハ致シテ居リマセウカ、他ノ技術ヲ十分ニ使ハウト云フ意思ガアリマシタナラバ、適當ナル條件デ以テ之ヲ十分利用シ得ルヤウニナツテ居リマス

○末松委員 「パテント」ノ關係ハドウナツテ居リマスガ、例ヘバ「フイッシャー」式ヲ三井ガ買ツテ來テ之ヲ使フト云フヤウナ際ニ、他ノ會社ガ其ノ部分マデモ相當立入ツテ知ルコトガ出來ルモノデスガ

○榎本説明員 今ノ「フイッシャー」法ノコトデアリマスガ、是ハ帝國燃料デ保有致シテ居リマシテ、日滿ノ人造石油業者如何ナル人ニデモ、同一ノ條件デ分權シ得ルヤウニナツテ居リマス

○末松委員 ソレハ「パテント」ヲ買ハナクテ宜イノデアリマスガ

○榎本説明員 サウデハアリマセウ

○末松委員 ソレカラ今度ハ方向ヲ變ヘマシテ、此ノ人造石油ト云フモノハ、將來南方開發ニ伴ツテ相當多量ノ石油資源ヲ得ルヤウニナルガラウト思ヒマスガ、マダ此ノ人造石油資源ニ關スル政策ト云フモノハ、當分此ノ儘ヤルト云フ御考ヘデアリマスガ、或ハ近キ將來ニ於テ人造石油政策ノ根本ヲ相當改メネバナラスト云フヤウナ御考ヘガアルノデアリマセウカ、此ノ點ハ大臣カラ御答ヘヲ願ヒマス

○岸國務大臣 其ノ點ハ極メテ重大ナ問題デアルト思ヒマス、私共南方諸地域ニ於キマシテ、相當ナ廣大ナ石油資源ガ、現在ニ於キマシテ又將來ニ於キマシテ確保サレ、是ガ開發サレル事柄ヲ期待致シテ居リマス併シナガラ是ガ開發ニハ相當ナ時日ヲ一面ニ要スルコトハ言フヲ待タナイノデアリマスガ、其ノ時日ノ後ニ開發サレマシタト致シマシテモ、其ノ時ニ於ケル我が國ノ國防力及ビ我が國ノ生産力、其ノ他全般ヲ見透シテ見マスルト、決シテ今日吾々ガ確保シ將來確保スルデアラウト考ヘテ居ルモノヲ以テシマシテモ、之ヲ以テ十分ト言フ譯ニハ行カナイノデアリマス、遺憾ナガラ相當量ノ不足ヲ來サヤウナ狀況ニアルト思ヒマス、又油ノ性質カラ申シマシテモ、先程モ申シマシタ如ク、各油田ニ依ツテ特殊ノ性質ヲ持ツテ居リマシテ、今日ノ國防又一般的生产擴充ノ全般ニ互ル量的、質的ノ見地カラ見マシテ、相當量ノ人造石油ノ事業ノ確立ト云フコトハ絕對ニ必要デアアルノデアリマス、而シテ今日マデ數年來人造石油事業ノ確立ノ爲ニ計畫ヲ立テテ、其ノ生産擴充ニ付テ努力致シテ參ツテ居リマスケレドモ、實ハ今日マデノ實績ハ色々ナ事情ニ於キマシテ、或ハ一部遅レテ居リ、或ハ一部豫期ノ通りノ成績ヲ收メテ居ラナイ部分等モゴザイマスノデ、此ノ内閣成立當初ニ於キマシテ、將來ノ人造石油事業ノ確立ノ目標ヲ立テマシテ、之ニ對シテハ特ニ重點ヲ置イテ、今後施行シテ參ル方針ヲ定メタノデアリマス、爾來大東亞戰爭ノ勃發ヲ見マシタケレドモ、此ノ根本方針ニ關シマシテハ、私共何等ノ變更ヲ認メテ居ラナイノデアリマス、隨ヒマシテ今吾々ノ持ツテ居リ

マスル人造石油事業ノ確立ニ關スル具體的方針ト云フモノハ、變更スル意思ヲ毛頭持ツテ居ラナイノデアリマス

○末松委員 今政府ノ御調べニナリマシタ所ニ依レバ、近キ將來先ヅ一、二年ノ間ニ確保スベキ石油ノ量ガドノ位ニナルカト云フヤウナ點ガ、既ニ御分リデアリマスルカ、又御分リニナツテ居ツテモ發表シ得ナイコトモアラウト思ヒマスガ、サウ云フ點ニ付テ發表シ得ル程度ノ御答ヘヲ願ヒタイ、ソレト同時ニ石油採掘ニ關スル資源ナリ勞力ナリ、其ノ他技術等ニ付テモ色々ノ難問題ガアルガラウト思ヒマスガ、ソレ等ノコトニ關シテ政府トシテハドウ云フ方針デ、或ハ人ヲ養ヒ、或ハ資材ヲ供給スルト云フヤウナ一定ノ御計畫ガ既ニアルヤ否ヤ、斯ウ云フ點モ御伺ヒ致シマス

○岸國務大臣 近キ將來ニ於キマシテ南方諸地域ニ於テ確實ニ開發確保ノ出來ル油ノ數量ニ付キマシテハ、今日ノ段階ニ於キマシテハ、之ヲ具體的ニ申述ベル時期ニマダ到達シテ居ラスト思ヒマス、隨ヒマシテ具體的ニハ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、此ノ開發ニ必要ナ技術、勞力、又物的資材等ノ問題ニ關シマシテハ、實ハ今回提案致シテ居リマスル帝國石油ノ機構ヲ充實致シマシテ、日本ニ於ケル石油工業ノ採掘事業ヲ全部之ニ統合致シマシテ、此ノ物的、人的ノ凡ユルモノヲ之ニ集中致シ仕組ヲ確立シタノデアリマス、之ニ依リマシテ從來各社ニ於キマシテモ技術員等ノ養成ニ對シマシテハ、此ノ數年來補助金等ヲ交付シマシテ、技術員ノ養成等ヲ行ハシテ參ツテ居リマスガ、之ヲ今後ハ帝石ニ於キマシテ有力ニ綜合シテ、必要ナル技術員ノ養成等ヲ行フコ

トハ勿論ノコト、從來持ツテ居リマスル日本ノ技術力ト云フモノヲ總動員シテ、軍ト緊密ナル連絡ノ下ニ、南方ヲ確保サレル油田ヲ出來ルダケ早ク、而モ能率ノ開發スルコトニ付キマシテハ、萬遺憾ナキヲ期シテ居ル次第アリマス

○末松委員 其ノ點ニ關聯シテ、私個人トシテ先日カラ關係シテ居ル問題ニ關シテ政府ノ御考ヘヲ伺ヒタイノデスガ、聞ク所ニ依ルト石油開發ニ付テハ、重晶石ト云フモノガ非常ニ必要ナルニ拘ラズ、其ノ重晶石ハ北海道ノ產出ガ非常ニ少クナツテ困ルト云フコトノ爲ニ、朝鮮ニ重晶石ノ鑛山ヲ持ツテ居ル私ノ懇意ナ人ヲ説キ、又之ヲ援助シテ會社ヲ起サセヨウト云フコトデ——是ハ南方開發ニ付テ非常ニ必要ナル石油採掘上ノ鑛石ダサウデスガ、私モ全然サウ云フ點ニ付テハ知りマセスケレドモ、併シ是ハ國策上其ノ種ノモノヲヤラナイトイケナイト云フ考ヘデ、私ハソレヲ相當援助シテ會社ヲ起スコトニナツテ居ツタノデアリマスガ、是ハ日本石油ノ方デヤハリ其ノ必要ヲ感ジテ、相當株ヲ持ツテ援助シテヤルト云フコトニナツテ居ツタ、所ガソレガ今度御承知ノ如ク帝國石油ニ鑛山ノ方ハ合併サレタノデ、帝國石油トシテハ、此ノ種ノ國策會社ガサウ云フヤウナ株ヲ持ツコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトヲ政府ニ研究シテ貰ヒタイト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、隨テ私ノ質問ハ、此ノ種ノ國策會社ガ國策上必要ナル場合ニ於テハ、此ノ種ノ自己ノ必要ナル鑛山其ノ他ノ機械トカ云フヤウナモノノ株ヲ持ツテソレヲ援助スルコトガ出來ルヤ否ヤ、即チ國策會社ガ自己ニ必要ナル私ノ會社ノ株ヲ持ツコトガ出來ルヤ否ヤト云フ

問題ガ一ツ、ソレカラ重晶石ト云フモノガ非常ニ石油採掘上ニハ必要ナルト云フコトヲ私ハ聞イタダケデ、ソレニ幾ラカ國策の必要ヲ感ジテ援助ヲ與ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、其ノ種ノ鑛石ガドノ程度ニ於テ石油事業ト密接ナル關係ガアルカト云フコト實ハ私モ全然知ラナイノデアリマスガ、此ノ機會ニ於テ、技術方面ノ方カドナタカカエ、重晶石ト云フモノガ石油開發上必要ナルヤ否ヤト云フコトヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○榎本説明員 今御話ノ重晶石ハ、是ハ水ニ溶解致シマシテ、井戸ヲ掘ル時ニ坑井ノ周壁ガ崩レルノヲ防グ爲ニ用ヒルモノデアリマス、併シ是ハ普通ニハ泥水デ役ニ立ツテ居リマスノデ、重晶石ノ方ガ宜イ場合モアリマスルガ、地質ノ狀況ニ依リマシテ絶對的ノモノトハ考ヘラレマセヌ、南方石油ノ地質等ガマダ的確ニ分ツテ居リマセヌカラ、隨テ量ハドノ位ノ程度マデ要ルカト云フコトハ、今一寸申上ゲニクイト考ヘラレマス、併シ若シ是ガ要ルト云フコトニナリマシタナラバ、相當量ノ増產ヲ致サナケレバナラスト思フノデスガ、量ノハマダ何トモ申上ゲラレナイト考ヘマス

○末松委員 此ノ種ノ國策會社ガ自己ノ必要ナル資源ヲ得ル爲ニ私ノ會社ノ株ヲ持ツコトガ出來ルヤ否ヤト云フ點ハ相當疑問ガアルノデ、政府ノ意見ヲ聽イテ貰ヒタイト云フコトヲ帝國石油ノ幹部ノ人ガ言ツテ居ルノデスガ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○岸國務大臣 具體的ノ問題ハ申上ゲ兼ネマスルケレドモ、國策會社トシテ其ノ事業ヲ營シテ行ク上ニ於テ必要ガアルト云フ場合ニハ、之ニ關聯シタ事業ヲ營ミ、若シクハ之ニ投資スルコトガ出來ル、法律論トシテ

出來ル建前ニナツテ居リマス

○上田委員長 ソレデハ午前ハ是デ止メマシテ、一應午後一時半カラ開クコトニ致シマス、豫算委員會ノ方デ臨時軍事費ノ政府ノ説明ガアルヤウデスカラ、ソレガ一時半頃ニ該當スルヤウナラバ、一旦開キマシテ又休ムコトニ致シマスガ、一應一時半カラ開クコトニ致シマス、是デ休憩致シマス

午後零時五分休憩

午後一時三十分開議

○上田委員長 ソレデハ午前ニ引續キ本委員會ヲ開キマス

一寸申上ゲマスガ、豫算委員會ニ於テ「タ」イノ宣戰布告ノ問題並ニ臨時軍事費ニ關スル問題、更ニ秘密會ノ質問應答ガアリマシテ、委員諸君モ是非聽クベキ點ガ澤山アラウト思ヒマスノデ御希望ニ依ツテ三時マデ休憩スルコトニ致シマス

午後一時四十分休憩

午後三時二十五分開議

○上田委員長 ソレデハ休憩前ニ引續キマシテ委員會ヲ開キマス——川俣君

○川俣委員 私ハ帝國鑛業開發ニ致シマシテモ、或ハ帝國燃料ニ致シマシテモ、先ヅ日本ノ大キナ鑛業政策ヲ立テ置カナケレバナラス、之ニ協賛スルニ致シマシテモ、其ノ根本對策ガ一番必要デアラウト考ヘマスノデ、先ヅ其ノ點カラ大臣ニ御尋ネ致シタイト思フノデアリマス、工業生産力ノ擴充増強ノ上カラ、原料資源デアアル所ノ鑛產物ヲ確保スルコトノ必要ナルコトハ今更言フ俟タナイノデアリマスガ、商工省ノ今日持ツテ居ラレマスル鑛業政策ト云フモノ

ガ、ドウモ中途半端ナ所ニアルノデハナカラウカト云フ憂ヲ常ニ抱イテ居ルノデアリマス、ソレハ商工省ダケノ考ヘカラ致シマシテ、唯鑛產物ノ増產ヲ圖ラウト云フヤウナコトダケニ力ヲ入レラレマシテ、其ノ他ノコトニ付キマシテハ農林省トカ、大藏省トカ、或ハ厚生省ト云フコトデアリマシテ、其ノ方トノ連絡ト云フカ、サウ云フ方面ニ付テノ努力ガ非常ニ足りナイノデハナカラウカ、斯ウ云フ大體ノ考ヘ方ヲソコニ置イテ居ルノデアリマス、ソコデ具體的ニナルノデアリマスガ、第一商工省自身トシテモ、一體十分ナル鑛業政策ヲ持ツテ居ナイノデハナカラウカト云フ點カラ御尋ネ致シタイノデアリマス、日本ノ鑛業法規ノ變遷ハ、此處デハ時間ガナイカラ問題ニ致シマセヌ、鑛業法規ノ中ニ於テ、商工省ハ一體ドレヲ中心ニ考ヘテ居ラレルノカト云フコトニナルノデアリマスガ、御承知ノ通り鑛業法規ノ中ノ一番重要ナル點ハ鑛業法ノ第四十條ノ點デアリマス、ソレト同時ニ日本ノ鑛產物ノ増產ヲ圖ル法規的ノ點ハ、重要鑛物増產法ト鑛業法ノ四十條ヲ活用スルコトガ一番大切ナルデアリマスガ、商工省デハ此ノ四十條ヲ活用スルコトヨリモ、大藏省ノ問題ニナル所ノ四十條ノ方ニ力ガ入レテ居ルヤウナ傾キガアル、ト云フノハ、鑛區稅ヲ納メナケレバ鑛業權ヲ取消スト云フヤウナ、所謂稅ノ方ノコトニ付テハ、鑛業權者ニ對シテハ強硬ナ建前ヲ現實ニ取ツテ居ル、併シナガラ四十條ノ所謂鑛產物ヲ掘出スト云フ方ノ態度ニ付テハ、之ヲ非常ニ曖昧ニシテ居ル、税金ヲ納メナケレバ鑛業權ヲ停止スルケレドモ、或ハサウ鑛物ヲ掘出サナイデモ見逃シテ置クト云フヤウナ建前デアアル税金

サヘ出スナラバ礦物ノ方ハドウデモ宜イト云フヤウナ結果ガ現レテ來テ居ルノデアリマス、サウ云フ點ニ付テ、税金ダケ納メル者ガ礦產物ヲ増産スルコトニ熱心デアツテ、其ノ他ノ者ガ不熱心デアルト云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居ラレルノデアルカドウカ、斯ウ云フ點ニ付テ先づ第一ニ御尋ネシナケレバナラスト思ヒマス

○岸國務大臣 御質問ノ鑛業法第四十條及ビ第四十一條ノ關係ニ關シマシテハ、御質問ノ御趣旨ノ如ク、鑛業法ノ一番重要ナ主眼ハ言フマデモナク、國家ガ必要トスル所ノ鑛業權ヲ付與スルコトニ依ツテ鑛山ヲ開發セシメルト云フ事柄ニアル譯デアリマス、隨ヒマシテ之ヲ開發セズ、其ノ鑛山ガ完全ニ地下資源ノ利用ヲシテ居ラナイト云フコトニナリマス、鑛業法本來ノ精神ニ悖ル譯デアリマスカラ、之ニ對スル適當ナル監督、又必要ガアレバ其ノ鑛業權ノ取消等ヲ行ツテ參ルト云フ事柄ガ、四十條及ビ四十一條ノ精神デアラウト思ヒマス、其ノ實體ハ言フマデモナク御趣旨ノ如ク地下資源ノ開發利用ト云フ點ニ主眼ガアリマシテ、之ヲ怠ルト云フ所ニ是ガ及ンデ來ルノデアリマシテ、四十條、四十一條共ニ精神ハソコニアルト思フノデアリマス

○川俣委員 當然サウ云フ建前デナケレバナラナイト私共思フノデス、鑛業權者ガ正當ナ理由ナクシテ、登録ノ日カラ一箇年以内ニ仕事ヲシナカツタ場合、或ハ一定ノ計畫ニ基イテ採掘ヲサナカツタ場合、所謂鑛物ヲ採取シナカツタ場合ニ於テハ、之ヲ監督シテ採掘セシメルト云フノガ本來ノ目的デナケレバナラナイト思フ、所ガ其ノ本來ノ方ハ餘リ問題ニシナイデ、今日行ハレ

テ居ルモノハ、四十一條ノ所謂鑛區稅ヲ納メナイト云フコトニ依ツテ鑛業權者ニ對スル懲罰ハアルケレドモ、四十條ノ規定ノ準用ト云フモノガ比較的ナイ、一年以内ニ鑛物ヲ採ラナカツタカラ鑛業權ヲ取消サレタトカ、或ハ施業案ニ依ラズシテ——忠實ニ鑛物ヲ採取シナカツタコトニ依ツテ鑛業權ヲ停止シタト云フ例ハ未ダ曾テナイ、唯稅金サヘ納メテ居ルナラバ其ノ儘繼續シテ置クト云フヤウナ建前ヲ取ツテ居ラレ、ソレハ一體商工省ノ建前ナカ、大藏省ノ建前ナカト云フ點ヲ私ハ常ニ疑問ニ思ツテ居ツタ、若シモ本當ニ考ヘテ居ラレラバ、鑛業法ノ精神デアル所ノ、所謂鑛業權ヲ設定シタナラバ、ソレニ基イテ一年以内ニ着手スル——是ハ或ハ二年以内ト云フ條項ニ改メラレテモ構ハヌケレドモ、或ハ採掘ニ、或ハ試掘ニ忠實ニ入ツテ行ク、或ハ採掘ノ方法ノ計畫ヲ立テテ之ニ從事スルト云フ方向ヲ執ラセナケレバナラナイト思フ、所ガ現實ニ採掘ナリ、試掘ナリノ行動ヲ執レナイ現狀ガ茲ニアルノハ、資材及ビ勞働力ノ不足ノ點ニアルト思フノデス、資材ノコトハ商工省デアリマスガ、今日ノ多クノ問題ハ私ハ勞働力ノ點ニアルト思フ、勞働力ノコトニナリマス、事厚生省ダト云フコト

ニナル、商工省ガ四十條ヲ適用致シマシテ、ソレデハ一年以内ニナゼ着手セヌダ、或ハ施業案ヲ以テナゼ採掘ニ掛ラスノダト云ツテ嚴重ニ監督ヲサレルト、勞務ノ關係ハドウダト云フコトガ問題ニナル、ソコデ勞務ノコトハ厚生省ダカラト云フコトニナツテ來テ、實際上ハ商工省ガ此ノ建前ヲ以テ業者ヲ指導シナケレバナラナイノニ拘ラズ、此ノ問題ガ起ツテ來ルト、ソレハ厚生省デ

アルトカ、ソレハ何省デアルト云フコトデ、建前ダケハ立テケレドモ、ソレヲ實行ニ移スダケノ實際ノ力ヲ商工省ハ持ツテ居ナイ、サウ云フ所ニ此ノ四十條ガ折角ノ中心デアルベキモノデアルニ拘ラズ、ソレガ有效ニ働イテ居ナイト云フ缺陷ヲ生ジテ來ル、之ニ對シテ大臣ハ如何ニ御考ヘニナルノデアリマスカ

○岸國務大臣 從來鑛山ノミナラズ一般生産力擴充ノ仕事ニ致シマシテモ、今御指摘ニナリマシタ如ク、資材、資金、勞働力ト云フモノガ綜合的ニ、有機的ナ關係ヲ持ツテ十分活動ヲ見ナカツタト云フヤウナ嫌ヒハ、確カニ御指摘ノ如クアツタト思フノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ三者ノ有機的ナ活動ヲ促スコトハ、生産力擴充ノ上カラ申シマシテ最も緊要ナ問題デアリマス、而シテ御承知ノ通り資金ハ大藏省ニ、資材ハ商工省ニ、勞働力ハ厚生省ニト云フヤウニ所管ガ分レテ居リマス爲ニ、此ノ三者ノ關係ガ有機的ニ運用サレナイト云フ憾ミハ確カニアツタノデアリマス、併シナガラ最近ニ於キマシテハ企畫院ニ於キマシテ、此ノ三者ノ關係ヲ十分綜合的、有機的ニ先ヅ計畫ヲ樹立シ、其ノ計畫ニ基イテ實行ヲ有機的ニ、綜合的ニ爲サシムベク關係省ノ間ニ十分努力ハ致シテ居リマス、併シナガラ實際ノ問題ト致シマシテ、尙ホ不十分ナ點モアラウカト思ヒマス、私共今日鑛山ノ資源開發若クハ其ノ他ノ必要ナ方面ニ於ケル生産力擴充ト云フコトニ關係シマシテ、單ニ資材ノミナラズ、勞働力ノ方面ニ付キマシテモ、是ハ所管ハ厚生省デアリマスケレドモ、實際ノ生産力擴充ノ責任ヲ持ツテ居ル商工省ト致シマシテ、十分其ノ點ニ關シマシテハ

色々ナ方面カラ力ヲ致シテ居リマス、又今後ニ於キマシテモ十分力ヲ致シ、サウ云フコトノ爲ニ生産力擴充ガ遅レルトカ、或ハ出來ナイトカ云フヤウナ事態ノナイヤウニ善處致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○川俣委員 私ハ只今ノ大臣ノ答辯ヲ以テ満足シナイノデス、ソレデ具體的ニ私ハ申上ゲタイト思フノデス、色々努力サレテ居ルト云フコトハ聞及ンデ居リマスケレドモ、ソレハ現實ニ行ハレテ居ラナイ、ソレハ厚生省カラ勞務管理ヲ商工省ヘ取ツタ方ガ宜イトカ何トカ云フコトハ第二ノ問題ト致シマシテ、大體厚生省ガ出來マシタ最初ニ於ケル所ノ勞務管理ト云フモノハ、是ハ日本ノ過去ノ歴史カラ言ヒマシテ、大臣モ御理解ニナツテ居ルト思フノデスガ、平和時代ニ於ケル所謂社會政策カラ此ノ勞務管理ガ生レテ來タノデアリマス、今日ハ社會政策トシテノ勞務管理デナクシテ、一ツノ産業政策ノ上カラ勞務管理ガ考ヘラレナケレバナラナクナツテ來タ、所ガ依然トシテヤハリ昔分ケタ通りノ厚生省ニ置イデ、是ハ商工省ノ仕事デハナイト云フヤウナコトデ、唯其ノ間ニ綜合的ニ有機的ニ關係ヲ結ンデ行クノダ、斯ウ云フコトダケデハ、十分産業政策的ナ勞務管理ガ可能ニナルト云フコトハ考ヘラレナイ、サウシテ頭カラ民間ニ色々ナ企業合同ヤ何カラ勸メテ居リマスケレドモ、ヤハリ省自體トシテモ、昔ノヤウニ勞務管理ガ社會政策ノ上カラ立ツタ勞務管理ノ場合ハ厚生省ニアツテ然ルベキデアルト思フガ、併シナガラ今日ノヤウナ時代ニナリマス、産業政策ノ上カラ勞務管理ヲシナケレバナラナイト云フ根本ヲ、モツト明確ニ立テナケレバナラス時期ニ到達致

シタノデハナイカ、ソコニドウモ手薄デア
ルト云フコトト、商工省ガ色々法案ヲ以
テ生産力擴充ヲ圖ラウトサレマシテモ、大
キナ點デ手抜カリガアルノデハナイカト思
フノデスガ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○岸國務大臣 御話ノ如ク日本ノ勞務管理
ノ發達ノ沿革カラ申シマス、今御話ニナ
ツタ通りノ沿革ヲ追ッテ居ルモノダト思
マス、而シテ今日ニ於キマシテハ産業政策
ノ見地カラノ勞務管理ヲ強化シレケレバナ
ラスト云フコトモ同感デアリマス、更ニ此
ノ問題ハ、今後ノ問題ト致シマシテハ産業
政策ノミナラス、大キナ日本ノ人口政策ノ
見地カラモ、此ノ問題ニ付テ考慮ヲ拂ハナ
ケレバナラスト云フコトモ申スマデモナイ
コトデアラウト思ヒマス、而シテ産業政策
ノ一部面ト致シマシテノ勞務管理ト云フモ
ノヲ完全ニ行ツテ行クト云フ事柄ハ、是ハ
取りモ直サズ生産力擴充ノ實績ヲ確保スル
所以デアリマシテ、先刻來御答ヘ申上ゲテ
居ル通り、其ノ點ニ付テノ從來ノ遺憾ナ點
ニ付キマシテハ微力ナガラ出來ルダケノ力
ヲ盡シマシテ、實效ヲ擧グルヤウニ努力致
シタイト考ヘテ居リマス

○川俣委員 次ハヤハリ勞務管理ノコトヲ
モウ少シ御尋ネ致シマスガ、私ハ勞務管理
ガ非常ニ難カシクナツテ來タト思ツテ居ル
ノデス、小サイ點カラ申上ゲルト、自分ハ
商工業者ノ企業合同ト云フコトガ勞務管理
ノ上ニ非常ニ影響シテ來ルト云フヤウナコ
トニ付テ、商工省デヤハリ一應御考ヘテ願
ハナケレバナラスト思ツテ居ルノデス、ト
云フノハ、御承知デセウガ勞働者ガ工場デ
仕事ヲスル、或ハ是ハ「サラリーマン」デモ
同ジダト思ヒマスガ、一定ノ年限ヲ經テ一

定ノ所謂退職手當ト云フヤウオモノヲ貰ツ
テ、其ノ以後ノ生活ハ恩給デアルトカ、所
謂退職金ヲ本ニシテ商工業ニ轉換シテ行ツ
テ餘生ヲ安樂ニスルト云フコトガ、大體日
本ノ大キナ傾向デアルト思フ、何時マデモ
所謂勞働者デアアルノデハナイ、幾ラカノ年
限ヲ經テ來ルト、是ガ煙草屋デアルトカ、
或ハ小サナ工場デアルトカ、或ハ商店デア
ルトカ云フモノヲ經營スルコトニ依ツテ餘
生ヲ安樂ニスルト云フヤウナ方向ヲ大體追
ツテ居ル、所ガ一方ニ於テ企業合同ガ行ハ
レテ、中小商工業者ガ整理サレルト云フコ
トニナルト、今度ハ前途ニ對スル行キ道ニ
付テ非常ナ不安ガアル、企業合同其ノモノ
ハ不安デハナイガ、勞働者ノ將來ニ付テノ
見透シト云フモノヲ失ツテ來ル、是ハ勞働
者ダケデハナクテ、恐ラク官廳ニ勤メテ居ラ
レル俸給生活者デモ同様デアラウト思フ、
サウスルト將來ニ對スル希望ト云フカ、老
後ニ於ケル所ノ安定策ト云フモノヲ相當變
ヘテ持ツテ行カナケレバナラス、勞務管理
ニ致シマシテモ、或ハ是カラ新シク俸給生
活者ヲ入レルニ致シマシテモ、私ハサウス
フ點ヲ全體ニ考ヘテ行カナケレバナラスノ
ベヤナイカト思フノデアリマス、サウスフ
コトニ付テモ餘リ考ヘ方ガ今日足りナイノ
デヤナイカト思ツテ居リマス、殊ニ今私共
勞働者ト接觸ガ非常ニ多クテ、其ノ成績ヲ
擧ゲテ行カウト云フ場合ニ於テ色々ナ氣持
ヲ聞イテ、如何ニスレバ生産力ヲ十分發揮
出來ルカ、勞働力ヲ發揮出來ルカト云フコ
トニ常ニ注意ヲ怠ラナイノデアリマスガ、
サウスフ點カラ勞働者ガ將來滅私奉公産業
戰士トシテ働クノハ宜シイケレドモ、或ル程
度ノ勞働力ガ低下シテ來ルト、結局工場ヲ

辭メナケレバナラス、其ノ後ノ生活ヲドウ
スルカト云フヤウナコトニ付テソロ／＼不
安ガ出テ來テ居ル、不安ト云フ言葉ガ惡ケ
レバ、安定ヲ得ラレナイ焦慮ガアル、サウ
云フコトニ付テ、是ハヤハリ年金デアルト
カ、或ハ醫療デアルトカ、サウスフコトマ
デ是ハ考ヘテ行カナケレバナラスト思フ、
所ガソレニナルト又厚生省ダト云フコトニ
ナル、商工省ガ何カ一ツノ案ヲ立テラレタ
ニシテモ、又年金ノコトニナルト、ソレハ
商工省デモ文句ヲ言フナトハ言ハナイデセ
ウケレドモ、餘リ相談ニ與ラス、ソレガド
ウ實行サレルカト云フヤウナコトニ付テハ餘
リ考ヘテ居ラレナイ、總務局長ガオイデニ
ナルカラ、總務局長ガ參加シテ居ラレルデ
セウケレドモ、此ノコトニ付テハ出席スル
ダケデ、餘リ發言シテ居ラレルヤウニ見受
ケ得ナイ、總テサウスフ風ニシテ、關聯シ
テ居ルコトハ念頭ニ置カナケレバナラスノ
ダケレドモ、其ノ點ニ付テノ御考ヘガマダ
足りナイト思フノデスガ如何デセウカ

○岸國務大臣 中小商工業ノ整理統合ノ方
針、又之ニ伴ツテ各種ノ企業ノ許可制度ヲ
採用致シテ居リマスルガ、從來日本デハヨ
ク餘ツタ人口ノ捌ケ口トシテ、或ハ商業部
門、小賣商ト云フモノガ考ヘラレテ、又實
際サウスフ風ナ實績ヲ示シテ居ツタノデア
リマス、今御指摘ニナリマス如ク、勞務者
ヤ俸給生活者等モ老後ニ於テサウスフ部門
ニ於テ生計ヲ營ンデ行クト云フヤウナ傾キ
ガ從來相當ニアツタコトハ事實デアラウト
思ヒマス、是ガ現下ノ情勢又近キ將來ノ見
透シヲシテ見マス、サウスフ事柄ガ從來
ノ如ク自由ニ出來ナイノダ、隨テ之ニ對シ
テ根本的ナ方策ヲ樹立スル必要ガアルト云

フ御説ニ付キマシテハ、十分吾々モ考ヘナ
ケレバナラス重大ナ問題デアルト思ヒマス、
唯之ニ關聯致シマシテ勞務管理ノ問題ノ所
管、又商工省ノ發言、若シクハ是トノ關係ヲ
緊密ニスルト云フ問題ニ關シマシテハ、私
共トシテハ今マデモ努力致シテ參ツテ居ル
積リデアリマスガ、其ノ足ラザル點ニ付キ
マシテハ十分努力シテ參ル積リデアリマス、
御趣旨ノ如ク勞務管理其ノモノガ非常ナ複
雜ナ相貌ヲ持ツヤウニナツタコトニ付キマ
シテモ十分認識ヲ持ツテ居リマシテ、是ガ
對策ニ付キマシテハ關係ノ省ノ間ニ、單ニ
從來ノ如ク何處ノ所管ダト云イヤウナ簡單
ナ考ヘデ處理スルコトナク、十分一ツ努力
シタイト思ヒマス

○上田委員長 川俣君ニ申上ゲマスガ、勞務
管理ノ問題ノ御質問ガアリマシタガ、中小
商工業者ノ問題ノ質問ニ入ラレルヤウナラ
バ、ソレハ更生金庫、重要物資ノ時ニ御質
問ヲ願ヒタイト思ヒマスカラ、ドウカ勞務
管理ノ方トシテノ御質問ヲ願ヒマス

○川俣委員 中小商工業ノ問題デナクシテ、
私ガ今御尋ネシタヤウニ其ノ善シ惡シノ問
題デナク、其ノ結果カラ來ルコトニ付テ御
尋ネシテ居ルノデス、ソコデ其ノ對策トシ
テヤハリ年金デアルトカ、保險制度ト云フ
モノガ相當活用サレナケレバナラナクナツ
テ來ル、其ノ活用ニ付テモツト商工省モ御努
力願ヒタイ、併シハ商工省ヲ煽テ別ニ
厚生省カラ何か持ツテ來イト云フ意味デハ
ナイノデアリマスカラ、其ノ點ハ誤解ノナ
イヤウニ、モツト産業省トシテノ責任ヲ持
ツテ欲シイト云フ意味ナノデアリマス、商
工省トシテ、或ハ岸サンニ御願ヒスルノデ
ハナク、日本ノ實際ノ産業省トシテノ使命

ヲ十分發揮シテ貰ハナケレバナラヌト云フ
點ニアルノデスカラ、其ノ點ハ誤解ナイヤ
ウニ願ヒタイ、厚生省ヲ潰シテ商工省ダケ
アレバ宜イト云フ意味デハナク、産業政策
ヲ十分立テナケレバナラヌ、其ノ産業政策
ノ中ニハ今ノ保險ト云フコトモ重要ニ考ヘ
ラレテ來タノデアル、サウ云フ點カラ論ジ
デ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ハ誤解ノ
ナイヤウニシテ欲シイト思フ、例ヘバ年金ノ
點ニ付キマシテモ、今度ハ労働者ノ年金ト
云フモノヲ大藏省ガ預金部ニ入レテ自由ニ
活用スルヲシ、前ハ厚生省デ相當ナ活用
ノ方法ヲ考ヘテ居ツタガ——是ハ大藏省ノ
人ヲ呼ンデ私ハ尋ネタイト思フケレドモ、
之ヲ預金部ニ入レテシマツテ、勝手ニ活用
スル、サウデアレバ折角労働管理ト相關聯
シテ年金制度ガ出來テ居ルノニ、大藏省ガ
唯金ダケノ建前カラノミ年金ノ金ヲ預金部
ニ入レテシマフト云フコトニナルト、私ハ
茲ニ所謂労働管理ト産業政策ト金融政策ト
ガ相俟タナイ結果ヲ來スデハナイカ、ドウ
モサウ云フ憂ヒヲ抱ク、デアルカラ商工省
トシテモ労働管理ノ上カラ致シマシテ、此
ノ年金制度ニ付テハ十分ナ考慮ヲ拂ハレナ
ケレバナラヌト思ヒマス

更ニ申上ゲタイノデスガ、是ハ明日デモ實
ハ農林省ノ方ヲ呼ンデ戴イデ御話シタイト
思フノデ、其ノ際十分ニ申上ゲタイト思フ
ガ、労働管理ノ中ニハ労働者バカリデナク、
國民トシテノ生活上ノ食糧ガ含マレテ居ル
コトハ當然デアル、所ガ御承知ノ通り鑛山
ト云フモノハ交通ガ非常ニ不便デアル、而
モ一箇所ノ或ル特定ナ區域ニ多數ノ人ヲ擁
シテ居ル、隨テ其ノ食糧ヲ全部鑛山ノ經營
者ガ確保シテ置カケレバナラヌ、然ルニ

拘ラズ農林省ハ事鑛山ニ關スルト云フトド
ウモ繼兎扱ヒニスル、一般住民ト同ジヤウ
ニ、勿論切符制デアルトカサウ云フコトニ
付テ異議ハナイノデスケレドモ兎ニ角米ナ
ラ米ヲ一定數量一年ニ消費スル、其ノ消費
量ヲ多クシテ與レト云フコトハ必ズシモ願
ハスケレドモ、ソレダケノ食糧ヲ與ヘテ置
クナラバ、三日デアルトカ二日デアルトカ
云フヤウナ不安定ナ食糧ノミヲ配給シテ置
クト云フヤウナコトハ、鑛山ノ經營ノ上カ
ラ言ツテ非常ニ危險デハナイカ、東京ニ於
テ現ニ十二月ノ末頃、或ハ正月ノ初メニ掛
ケテ非常ニ不安ナ狀況ガアツタ、サウ云フ
コトニナツテ來ルト、是ハ一般ノ國民デア
リマスレバ一日米ガ足りナイト言ヒマシテ
モサウ不安ナコトハナイ、所ガ何千人ト使
ツテ居リマス、其ノ家族ヲ入レルトヤハ
リ四倍乃至五倍ニナル、千人ノ従業員ガ居
ルト五千人ノ家族ニ影響シテ來ル、ソレガ
一日カ二日分シカ米ガナイトナルト全體ニ
影響スル、都會ノ隣組デアレバ五人カ六人
デアリマスカラ、其ノ不安ノ狀態ト言ヒ
マシテモ大シタ問題デハナイ、所ガ鑛山ニ
ナルト一箇所ニ大キナ所ハ何千人ノ問題ト
云フコトニナルカラ、不安ナ狀態ガ非常ニ
助長サレル、東京全體バラ／＼ニ千人ガ不
安デアリマシテモ大シタ問題ハナイガ一定
ノ地域ニ千人、其ノ家族ヲ入レテ五千人ノ
者ガ明日ノ米ガナイト云フヤウナコトニナ
リマスルト、是ハ産業戰士デアルト云フヤウ
ナコトヲ商工省デ如何ニ宣傳サレマシテ
モ、中々サウ云フ大キナ労働者ノ不安ト云
フモノハ一時ニ解消出來ナイ、一方カラ言
フト、農村ノ附近デアリマスカラ、農民ハ
相當ナ食糧ヲ確保シテ居ル、一方デ産業戰

士ト云フヤウナコトデ、大イニ「ボスター」
ハ貼ツテ貰ヘルケレドモ、實際ハ食糧ガナ
イト云フコトニナリマシテハ、名目ノ「ボス
ター」ダケノ産業戰士デアツテ、實際ノ待
遇ハ産業戰士トシテノ待遇デナイト云フコ
トヲ、労働者デアリマスルカラ感情的ニ感
ズル、所ガソレニ對スル配給ハ相當ノ準備
ヲシテ然ルベキニ拘ラズ、サウ云フ點ニ付
テハ非常ニ遅レテ居ル、是ハ鑛山監督局ア
タリガ盛ニ努力致シテ居ルヤウデアリマ
スルケレドモ、府縣知事ガドウモ諒解シナ
イ傾キガアル、是等ニ付テノ大臣ノ明快ナ
御答辯ヲ願ヒタイ

○岸國務大臣 特ニ鑛山ニ於ケル食糧問題
ノ重要性ハ御指摘ノ通りデアリマス、隨分
此ノ問題ニ關シマシテハ、或ハ或ル地方ニ
於キマシテハ食糧上ノ不安ノ問題カラ色々
好マシカラヌヤウナ事態モ起リ兼ネナイト
云フ所モアリマス、又食糧ノ量ノ問題ニ付
キマシテモ、非常ニ過激ナ肉體の労働ス
ル關係上、他ノ方面ノ人々トハ特別ノ事情
ニアル點モアルノデアリマシテ、是等ノ點ニ
關シマシテ、各鑛山ニ於テ食糧問題ノ不安ヲ
一掃シ、十分ノ活動ガ出來ルダケノ食糧ヲ
確保スルト云フコトハ、鑛山ニ於ケル増産
對策トシテ現下ノ最も重要ナルモノノ一デ
アルト思ヒマス、過般來色々ナ鑛山ニ就テ
實際ヲ調べ見マシテモ、又實際之ニ働イ
テ居ル人々ノ偽ラヌ意見ヲ聽イテ見マシテ
モ、此ノ點ハ非常ニ重要ナ問題デアルト思
フノデアリマス、既ニ農林省トノ間ニ於キ
マシテハ大臣ノ間ニ於テ或ハ事務當局ノ間
ニ於キマシテ此ノ問題ヲ探上ゲマシテ、具
體的ニ相當ナ方面ニ於キマシテハ解決ヲ見
ツツアル狀況デアリマス、唯是ハ現在ノ狀

況ガ、鑛山ダケノ立場カラ見マスルト甚ダ
遺憾ナ狀況ニナルノデアリマスルガ、併シ
是ハ鑛山ノ立場ダケデ見ル譯ニモ行カナイ
事情ガアリマシテ、ソレハ今御指摘ニナリ
マシタ如ク斯ウ云フ鑛山ニ於ケル食糧問題
ハ、私共カラ申シマスルト、鑛山監督局ニ
其ノ必要量ヲ任シテ貰ツテ之ヲ必要鑛山ニ
確保シテ行クト云フ方法ヲ執ルコトガ、最
モ鑛山ニハ徹底スル方法ナノデアリマス、
サウ云フ考ヘモアリマス、併シ同時ニ地元
ノ縣ト致シマシテハ、縣内ノ凡ユル縣民ノ食
糧問題ノ不安ヲ一掃シテ食糧問題ノ確保ヲ
圖ラナケレバナラヌ、是ハ縣長官ノ當然ノ
職責デアリマシテ、其ノ見地モアルノデア
リマス、此ノ兩方ノ調和ノ點ガ現實ノ問題
トシテハ實ハ相當ムジカシイ問題デアリマ
ス、併シ或ル地方ニ於キマシテハ、縣當局
ト監督局ノ當局ト農林商工ノ方々、各關係
者ガ十分ナ緊密ナ連絡ヲ執リマシテ、形ハ飽
クマデ縣ヲ通ジテ出テ來マスガ其ノ内容ニ
付キマシテハ鑛山監督局ノ鑛山ニ實際即應
ジテ實情ヲ採入レテ、縣ノ方ニ於テ鑛山ノ
食糧ノ不安ヲ生ゼシメナイヤウナ施策ヲ講
ジテ貰ツテ居ル所モ少クナイノデアリマス、
マダ全國ニ十分其ノ點ガ徹底シテ居リマセ
ヌガ、其ノ點ニ付テハ仰セノ如ク現下ノ實
際問題トシテ最も重要ナ問題デアリマスカ
ラ、今後モ十分ニ注意シタイ、斯ウ考ヘテ
居リマス

○川俣委員 此ノ點ニ付テ大臣ヨリ満足ナ
ル答辯ヲ得マシテ諒承スルノデアリマス、
此ノ答辯ガ増産ニ付テ非常ニ影響スルト思
ヒマスノデ、其ノ答辯ヲ多ト致シマス

次ハ鑛業政策ノ上カラモウ一點御尋ネシタ
イノデアリマスガ、日滿支及ビ將來發展スルデ

アラウ所ノ大東亞共榮圈ニ於ケル鑛業政策ノ上カラ、試掘ト探掘ト内地ニ於テ分テテ居リマスガ、日本内地ニ於ケル所ノ鑛業政策、是ガ滿洲及北支、或ハ南方マデ同ジヤウナ方向ヲ以テ鑛業政策ヲ立テナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、日本ハ日本トシテ特別ダト云フヤウナコトニハ私ハ相成ラヌト思フノデス、ソコデ日本ハ探掘ト試掘ヲ分ケテ居ツテ、而モ試掘ハ四年、探掘ハ將來性ヲ持ツテ居ルノデアリマス、税金ハ鑛區稅ト鑛產稅ニ分ケテ居リマスガ、日滿支或ハ東亞共榮圈ニ於ケル所ノ將來ノ鑛業政策ハ、ヤハリ同様ナ方向ヲ以テ行カレノデアルカ又全體ヲ睨ミ合セテ日本内地ノ鑛業法規ヲ變ヘテ行カウトスルノデアルカ、其ノ點ヲ御尋ネシタイ

○岸國務大臣 大東亞共榮圈ニ於ケル鑛業政策ノ問題ニ付キマシテハ、ヤハリ日本ガ中心トナリマシテ大東亞ニ於ケル必要資源ガ開發サレト云フコトハ當然デアリマスガ、唯各地方ニ於テ如何ナル法律制度ヲ採用スルカト云フ問題ニ付キマシテハ、御承知ノ通り既ニ滿洲ニ於ケル鑛業法ノ制度ハ、日本内地トハ全然趣キヲ異ニシテ居リマス、支那ニ於キマシテモ亦異ツテ居ルノデアリマシテ、南方諸地域ニ於キマシテモ、法規ノ制度、鑛業權、探掘權、試掘權等ノ關係、或ハ其ノ年限ト云フヤウナモノニ關シマシテハ、是ハ地域ニ依ツテ異ナル法制ガ布カレルモノダト考ヘテ居リマス、必ズシモ日本ノ法規ヲ其ノ儘南方諸地域ニ持ツテ行キマシテ、其處ノ從來ノ慣習乃至ハ其處ノ鑛業開發上最モ有效ナ、有利ナ、適切ナ方法デアルカドウカト云フ事柄ハ、地域ニ依ツテ異ナルモノデアリマシテ、隨テ日本ノ鑛業法ヲ其

ノ儘新シイ地方ニ施行スルト云フ考ヘハ持ツテ居リマセヌ、又逆ニ、ソレデハ日本ノ鑛業權ノ根本ヲ、是等ノ地域ノ色々ナ實績カラ顧ミテ根本的ニ變ヘル考ヘガアルカドウカト云フ問題ニナリマス、ヤハリ日本ノ鑛業權ノ發達ニ付キマシテハ、御承知ノ通り相當永イ沿革ヲ持ツテ居リマシテ、是ガ日本ノ鑛業ノ發達ニ資シテ參ツテ居リマスノデ、之ヲ一朝ニ變ヘルト云フヤウナ問題モ、増產ノ上、將來ノ鑛業開發ノ上ニハ相當ノ影響ガアル問題デアリマスカラ、勿論時々適切ナ改正ハ行ツテ居リマスケレドモ、根本的ニハヤハリ地域ニ依ツテ其處ニ適シタ法制ガ布カレル、斯ウ云フ風ニ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○川俣委員 私ハ此ノ點ニ付テハ日本ノ法規ガ必ズシモ進歩致シテ居ルトハ思ツテ居リマセヌノデ、日本ノ法規ハ監督法規カラ産業法規ニ移行シテ行クベキモノダト云フコトハ、前々議會以來商工省ヘ其ノ點ヲ申述ベテ居ル點デアリマス、鑛物増產ノ上カラ、ヤハリ増產ニ適當ナ法規ニ移行シテ行カナアルト云フコトハ認メマスケレドモ、ヤハリサウ云フ方向ニ基イテ行カナケレバナラヌト私ハ確信致シテ居ルノデアリマスガ、是レ以上ハ質疑致シマセヌ、唯問題ハ帝國興發ト關係致シテ來ルノデアリマスガ、具體的ニ鑛物ノ増產ヲ圖ル上ニ於テ、ドウ云フ方法ヲ執ツタラ宜イカト云フコトヲ私ハ此ノ際檢討シタイト思フ、ソレニハ所謂富鑛、富床ノ所ニ重點ヲ置イテ、其處ニ資材勞力ヲ全部集メテ行ツテ、サウシテ短期間ニ於テト言ヒマスガ、速カナル施設ヲ行ツテ増產ヲ圖ル方ガ宜シイカ、或ハ中小鑛山ニ

努力ヲ致シテ増產計畫ヲ立テルコトガ然ルベキカト云フコトニ付テ、種々議論ガアルヤウデアリマス、併シナガラ地下資源ヲ地上ヘ採取スルニハ、私ハヤハリ所謂富鑛デアラウトモ、富床ヲ探掘スルコトノ方ガ、萬全ト言ヒマスガ、目下ノ急務ニ當嵌マル採掘ガ可能デアルト思フ、唯其ノ場合ニ中小鑛山ハドウスルカト云フ問題ニ付テハ、此ノ中小鑛山ハ所謂富鑛ノ發見ニ非常ニ役立ツノデアリマシテ、鑛物其ノモノヲ採取スルコトニ付テハ増產ニハ直接大シタ影響ハナイ、併シナガラ日本内地ニ於ケル富鑛ノ發見シテ、次ノ段階ニ至ル所ノ鑛物ノ増產ノ上ニ影響シテ來ルノデアル、其ノ點ヲヤハリ明カニシテ鑛山ヲ指導スル必要ガアルト私ハ思フ、中小鑛山ヲ營ンデ居ル人ハ、直グ自分ノ鑛山ガ日本ノ國策ニ適ツテ居ツテ、増產ニナルノダト云フヤウナ考ヘ方ヲ往々致シテ居ラレマス、又商工省ハ、小サナ鑛山ガ何ボ逆立チシテモ日本ノ鑛產ノ上ニハ大シタ利益ハナイノダト極端ニ言ハレル、併シソコノ見解ハ、中小鑛山主ガ自分ノ資産ヲ投出シ、又親戚ノ資産ヲ持寄ツテ、或ハ工面シテ注込シテ居ルノガ所謂富鑛ノ發見デアル、商工省ヤ國策會社ガ調査費ヲ以テ鑛床ヲ發見スルヨリモ、中小鑛山經營者ガ注込シテ調査費ハ莫大ナモノデアルト思フ、サウ云フ點モアルカラ、今日中小鑛山ニ對シテモヤハリ保護ハ必要デアルト思ヒマスガ、ソレ自體ガ必ズシモ私ハ鑛物ノ増產ノ上ニ影響ハナイト思ツテ居ル、然ラバ是ハヤハリ所謂富鑛富床ノアル所、貧鑛ニシテモ富床ノアル所謂有望鑛山ト云フカ、大鑛山ニ主力ヲ注ガナケレバナラヌト思フ、ソレデ帝國興發ニ致シマシテモ、其ノ建前ヲヤ

ハリ私ハ執ラシムベキデハナイカト思フ、所ガドウモ帝國興發ハ別ニ致シマシテ、日本產金會社ハ斯ウ云フ態度ヲ執ツテ居ラナイ、去年ノ議會デモ申上ゲマシタケレドモ、ドウツカト云フト同ジ鑛山ノ開發ニ當ツテ居リマス帝國興發開發ト日本產金トハ、鑛山ノ開發ニ對シテ根本ノ違ヒガアルト私ハ思フ、日本產金ノ社長ガ迭ハラレテ、最近ノ意向ハ餘程違ツテ來テ居リマシタケレドモ——產金ニ對スル政策ハマダ變ツテ居リマセヌデセウケレドモ、餘リ華々シイ成績ヲ舉ゲテ居ラレナイ、ソレハナゼカト云フト最初ノ出發ガ惡カッタ、ト云フノハ具體的ニ言フト日本產金會社ノ所謂小鑛山ニ對スル貸付ハ、是ハ私モ此ノ前ノ議會デ言ヒマシタケレドモ、鑛山ニ對シテ調査ニ行ツタ結果、有望デアルカラ資金ヲ貸付ケルト云フ態度デハナクテ、其ノ鑛山ノ所有者ガ興信所ノ證明ニ依ツテ相當ノ資産狀態ガアルト云フナラ貸スト云フノデアリマス、隨テ日本產金カラ金ヲ借りルコトニナリマス、先ヅ鑛山ノ調査ト云フコトハ第二デアツテ、興信所ニ好ク思ハレナケレバナラヌ、地方ノ人ノ如キハ興信所ニ對シテ相當ノ金ヲ拂ツテ居ル、鑛山ノ金ヲ借りタイト云フノニ、興信所ニ金ヲ拂ハナケレバナラヌト云フヤウナ邪道ガアル、ト云フノハ產金會社ノ重役ノ大部分ハ大藏省カラ行ツテ居ル、大藏省カラ行ツテ居ルト、ドウシテモ金貸的ニ考ヘテ、鑛山ヲ開發スルコトガ目的デアナイ、開發スルコトガ目的デアラバ、此ノ鑛山ガ調査ノ結果有望デアル、調査ノ結果不良デアルト云フナラハ別問題デス、優良デアルト云フナラバ、此ノ開發ノ爲ニ資金ヲ貸スノデアルカラ開發資金ヲ出

シタラ宜イ、出シテ之ヲ開發スベキガ目的
デアル、此ノ山ヲ優良ニスルコトガ目的
アルノデアリマスカラ、資金ヲ投資シテ決
シテ不滿ガナイ筈デアル、若シモ金ヲ拂
ナカツタラ山ヲ取レバ宜イ、山ヲ取ツテ開
發スレバ宜イ、所ガ資金ノ貸付方ハ、山ハ有
望デアツテモ、オ前ハ貧乏人デアツテ迎モ
金ヲ貸ス資格ガナイカラ、モツト資格ノア
ル者ヲ保證人ニ立テナケレバナラス、サウ
云フコトニ於キマシテ銀行屋トカ其邊ノ金
貸ト同ジヤウナコトヲヤル、サウ云フ點ガ
多クアツテ、人ヲ見テ金ヲ貸シタト云フコ
トニナル、山ヲ見テ金ヲ貸シタ形トハナツ
テ居リマスガ、人ニ金ヲ貸シタ結果、資金
ガ焦付イテ運用ガ出來ナイト云フコトニナ
ル、鑛發ハソレ程デハナイケレドモ、ヤハ
リ帝國鑛發ニ於テモ金融ヲ扱ツテ居ル人
ガ、ドツツカト云フト人ニ金ヲ貸スト云フ
考ヘ方デ、オ前ノ資産状態ハドウカ、保證
人ガアルカドウカト云フ、保證人ヲ重要視
スルナラ山ニ貸スノデハナイ、對人關係ナ
ラ保證人ガアルカドウカ、信用ガアルカド
ウカト云フコトガ重要問題デアラガ、山ニ
對シテ貸スノデアル、發展性ガアル、有望
ニナル可能性ガアルト云フナラバ、ソレニ
基イテ金融サレタガ宜イ、ソレハ如何ニ貧
乏人デアラウト、金持デアラウト、山自體
ノ如何ト云フコトニアルト云フ考ヘ方ヲシ
ナケレバナラスガ、鑛發ニ於テモヤハリ保
證人ヲ云々スルト云フ傾向ガアル、保證人
ヲ云々スルダケノ餘裕ガアルナラバ、モツ
ト山ヲ調査スルガ宜イ、嚴格ヲ調査ヲサセ
ルト云フコトガ本當デアルト私ハ思フ、調
査ガ粗漏デアツテ、貸方ノ書類ダケヲ嚴格
ニヤリマシテモ十分ナ結果ヲ得ラレナイト

私ハ思フノデアリマスケレドモ、之ニ對ス
ル大臣ノ御答辯ヲ得タイ

○岸國務大臣 御指摘ノ如ク帝國鑛發又ハ
日本產金ノ行ヒマスル投資、融資ハ、其ノ事
業ノ性質カラ見マシテ、一般金融業者ガ相手
トシテ居ラナイ方面デ、而モ産業政策上必
要ナ部面ニ對スル金融ヲ付ケル意味ニ於キ
マシテ、特ニ是等ノ會社ニ融資、投資ノ途
ガ認メテアル譯デアリマス、隨ヒマシテ其
ノ運用ニ付キマシテモ、自ラ一般金融業者
ガ取扱フヤリ方トハ異ナルベキモノデアリ
マシテ、御意見ノ通り、山其ノモノニ重キ
ヲ置イテナサルベキ事柄ハ當然デアリマス、
唯山自身ノ調査モ勿論必要デアリマスガ、
同時ニ山ガ開發セラレマスニ付キマシテハ、
技術デアルトカ、或ハ經營能力ト云フヤウナ
點モヤハリ一ツノ金融ノ對象トシテハ調査
ヲサレナケレバナラス點ダト思ヒマスルケ
レドモ、他ノ金融業者ヤ銀行ガ貸スガ如
ク、山ノ貸シハ連モ其ノ人ノ對人信用、
他ノ財産デアルトカ、或ハ保證人ニ有力
者ガアルカナイカト云フコトダケデ以テ、
ソレニ重キヲ置イテ是ガ運用サレルト云
フコトニナリマシテハ、實ハ帝國鑛發ヤ、日
本產金ヲ設ケタ特別ノ趣旨ト云フモノガ減
却サレル譯デアリマス、今日マデノ兩者ノ實
績ガ十分ニ完全ニ其ノ目的ヲ達シテ居ルト
云フ事柄モ申上ガ兼ネルト思ヒマスケレドモ、
併シナガラ今日マデノ實績カラ見マシテ恐
ラクハ一般金融業者ナラバ全然相手ニシナカ
ッタデアラウト思ハレル部面ニ對シテ、相
當ナ額ノ投資、融資ヲ見テ居リマス、サウシ
テソレノ鑛物資源ガ開發ヲ見テ居ル事柄ハ
少クトモ是等ノ國策會社ノ使命ガ其ノ點ニ
於キマシテハ達成サレテ居ル譯デアリマス、

尙ホ現實ノ問題トシテ、是等ノ會社ガ行ツ
テ居リマスル融資、投資ニ付テ、御指摘ノ
ヤウナ弊害ガアルトスルナラバ、其ノ點ハ
適當ニ監督シテ是正スベキモノダト考ヘマ
ス

○川俣委員 私本當ハ產金ノ具體的ナ例ヲ
舉ゲテ此處申上タイノデアリマスガ、餘
リ時間モアリマセヌカラ、具體的ノコトニ
付テ澤山申上ゲルコトヲ止メタイト思ヒマ
ス、大體鑛發ノ方ガ成績ハ良イ、產金ノ方
ガ成績ハ大體不良デアルト云フコトダケハ
此處申上ゲタイト思ヒマス

更ニ申上ゲタイト思フノデスガ、鑛發ノ
經營シテ居ル山、現在經營シテ居ル事業ガ
二十鑛山アルヤウデアリマス、此ノ中デ金ヲ
含シテナイ鑛山ハ三ツヨリナイヤウデアリ
マス、又日本產金デ經營シテ居ル鑛山、或
ハ投資致シマシタ鑛山ニ致シマシテモ、其
ノ八割ハ銅其ノ他ノ鑛物ヲ含シテ居ル、サ
ウスルト區別ガ殆ド付カナイ、殆ド日本内
地ノ鑛床ノ狀態ガ區別ガ付カナイ狀態ニナ
ツテ居ル、區別ノ付クノハ北海道ト朝鮮ヨ
リ外ニ大體ナイト思フ、故ニドウシテモ此
ノ產金會社ト鑛發ト二ツニ分ケテ置カナケ
レバナラスト云フ理由ハナイト私ハ思フガ、
今日デモ尙ホ分ケテ置カナケレバナラス理
由ガアルカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○岸國務大臣 日本產金並ニ帝國鑛發ガ設
立ヲ見マシタ沿革ニ付キマシテハ、川俣委員
能ク御承知デアリマスカラ茲ニ申上ゲマセ
ヌ、唯其ノ當時ノ事情カラ申シマスルト、ソ
レゾレ是ガ設ケラルベキ特別ノ必要ガアツ
テ設ケラレテ今日ニ參ツテ居ルノデアリマ
ス、今後ニ於キマシテモ兩者ノ使命ハ必ズ
シモ同一ダトハ私共考ヘテ居リマセヌ、併

シナガラ實際ノ技術ノ上カラ今御指摘ニナ
リマシタヤウニ、扱ツテ居リマスル鑛石ノ
點カラ考ヘテ見マシテモ、其ノ他色々經營
上ノ點カラ考ヘテ見マシテモ、此ノ兩社ノ
合同ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、今
直チニ之ヲ行フ考ヘハ持ツテ居リマセヌケ
レドモ、將來ノ問題トシテハ十分ニ考究ス
ベキ問題デアルト考ヘテ居リマス

○川俣委員 私ハ理論的ナ點カラダケデナ
ク、現在ノ技術員ノ非常ニ不足ナ場合、殊
ニ南ニ對シテモ相當ナ技術員ヲ動員シテ行
カナケレバナラナイヤウナ現在ノ情勢ニ於
テ、二社、三社ト云フモノガ各、僅カノ技術
員ヲ割據シテ持ツテ居ナケレバナラナイト
云フ時代デハナイト思フ、產金會社ガ產金
ノミデ、砂金事業デアリマスレベ別デアリ
マスケレドモ、他ノ砂金以外ノ鑛物ノコト
ニ付キマシテハ、產金會社ニ產金ダケノ專
門家ガ居ル譯デモナイシ、又帝國鑛發ニ金ノ
コトハ全然理解ノナイ者が居ルト云フヤウ
ニ區分サレテ居ル譯デモナイノデアリマス、
日本ノ大體ノ鑛石ノ狀態ト云フモノハ、技
術員ガ大體決マツテ居ル範圍ニシカ存在シ
ナイ、其ノ僅カシカ存在シテ居ナイ技術員
ヲ動員シテ行ク上カラ、各社ニ分ケテ置イ
テ技術員ヲ奪ヒ合スルガ如キハ、目下ノ實
情カラ私ハ甚ダ遺憾デアル、ト云フ風ニ考
ヘマシテ問題ハ資金ヲドウスルトカ、會社
ヲドウスルトカ云フコトヨリモ、斯ウ云フ現
實ニ徴セナケレバナラナイ使命ヲ持ツテ居
ル兩會社ハ速カニ技術員ノ統合ガ必要デア
ル、サウ云フ點カラ私ハ強く主張致シテ居
ルノデアリマス、是ハ餘程御考ヘ置キテ願
ツテ置キタイト思フノデアリマス

尙ホ進ンデ申上ゲタイト思ヒマスノハ石

炭ノコトデアリマス、石炭ノコトハ直接此ノ法案ハ關係ハナイノデアリマスケレドモ、

是ハ日本ノ鑛山ヲ經營スル上カラ致シマシテ、ヤハリ勞務關係ガ重大ニナツテ來ルノデアリマス、南洋方面ニ於ケル所ノ鑛物ノ存在ハ、大體世間デ舉ゲラレテ居ルヤウナ狀態デアリマシテ、日本内地ニ於テハ一番多ク存在スルノ所ノ銅ガ南洋ニ於テサウ澤山アルトハ考ヘラレマセヌ、又石炭ノ問題ニナリマス、北支、大陸ノ方ニ相當ナモノガアリマシテ、内地ノ方ハ九州ナドハモウ比較的老境ニ入ツテ居ル、唯北海道、樺太ガマダ相當ノ餘裕ヲ持ツテ居ルガ、斯ウ云フコトニナルト、ソコデヤハリ大キナ石炭對策ト云フモノハ、結局ハ運輸デアリマスケレドモ、内地ノ運輸ハヤハリ勞務對策デナケレバナラヌト思フ、ソコデ此ノ勞務對策ノ中ニ

於キマシテモ、將來ヤハリ南ノ方ニ熱練勞務者ヲ向ケルト致シマスケレバ、此ノ中カラ更ニ持ツテ行カナケレバナラス、大體石炭ノ方ノ勞務者ト云フモノハ、サウ熱練者ト云フモノガ本當ハ比較的居ナイ、金屬山ニハ相當ノ熱練者ガ居リマシテ、御承知ノ通り相當ノ知識經驗ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ金屬山ノ勞務關係者ヲ、或ハ石油ノ關係者ヲ南ニ動員シナケレバナラナイト思フノデスガ、サウ致シマスケレバ石炭ノ方ノ關係ノ勞務者ト云フモノハ、益々不足ニナツテ來ルト思フ、ソレデ此ノ不足ニナツタ勞務關係者ヲ何處カラ一體持ツテ來テ、内地ノ採炭事業ヲナスノデアルカ、或ハ内地ノ採炭事業ニ付テハ、北海道ニ致シマシテモ或ハ樺太ニ致シマシテモ、當分大陸ニ依存スルト云フヤウナコトデ、餘リ注意ヲ致サナイト云フ方針デアルカドウカ、此ノ點ニ

付テ大臣カラデナクテモ宜イカラ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山口政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシテハ、出來得ル限り能率ノ増進ヲ圖ツテ行キタイト思ヒマス、ソレハ日本ノ炭礦ノ能率ハ、御承知ノ通り各國ニ比ベテ非常ニマダ惡イノデス、機械化ノ程度モ進ンデハ參リマシタケレドモ、資材其ノ他ノ關係デ遺憾ナ點ガアリマス、炭坑ノ内部ノ狀況モ左程良イ譯デハゴザイマセヌガ、機械化竝ニ又坑夫サンノ氣持ヲ一層勵マシテヤレバ、相當能率ノ増進ガ期待出來得ルモノト思ヒマス、尙ホ將來ノ開發ニ付キマシテハ、滿洲及北支ノ石炭モ相當將來ハ考ヘナケレバナリマセヌノデ、遺憾ナイヤウニ目下研究致シテ居リマス

○川俣委員 私ハ此ノ點ヲモツト具體的ニ御尋ネヲシタイ、一體鑛山ノ坑夫ノ補給ヲドウ云フ點ニ置イテ居ルノカト云フ點デアリマス、一寸見ルト企業合同ニ依ル轉失業者ヲソチラニ向ケルカノ如ク見エル、ナゼカト云フト最近出マシタ總動員法ノ勞務管理ノ點カラ見ルト、農村ノ方ノ勞働者ノ移動ニ付キマシテハ、府縣及ビ町村ノ農會ガ之ニ携ツテ居ル、隨テ部分的ナ町村農會ガヤハリ特定地域ノ特定農村ノ保護ニ當ラウト云フノハ、是ハ私ハ自然ノ勢ヒデアルト思フ、自分ノ村、自分ノ部落、自分ノ郷土ノ農業生産力ヲ上ゲルト云フコトニ全力ヲ注グト云フコトハ、是ハ私ハ氣持トツテ當然デアルト思フ、サウ云フ所ニ勞務管理ヲ置キマスケレバ、結果ハヤハリソコニ落着イテ、炭坑ノ坑夫ノ補給地デアル所ノ農村カラ勞働力ガ廻ラナイト致シマスケレバ、私ハ方法ガナカラウト思フ、中小商工業者ノ轉

失業者ヲ炭坑ニ持ツテ行クト云フガ如キハ、私ハ殆ド不可能デアルト思フ、然ラバヤハリ農村ヨリ之ヲ補給スルノ外ハナイ、

其ノ農村ノ補給ノ途ヲ止メラレルヤウナ傾向ガアルニ拘ラズ、其ノ補給ノ途ニ付テ他ニ考ヘテ居ラレカドウカト云フ點ナシマス

○岸國務大臣 將來永イ眼ヲ以テ鑛山又ハ一般鑛業ノ勞働力ト云フモノノ補給ヲドウ云フ風ニ考ヘルカト云フ問題ハ、日本ノ前途カラ申シマシテ、東亞共榮圈ノ建設ノ上カラ非常ニ大キナ問題ノ一ツデアルト思ヒマス、事柄ハ結局將來ノ鑛業立地ノ問題ヲ、勞働力ノ補給ノ點ヲ重要ナ項目トシテ考慮シテ立地ガ決メラレナケレバナナルマイト思ヒマス、何レニシマシテモ、國內ノ勞働力ト云フモノハ今御話ノ通り、一面農村ニ於ケルモノニ付キマシテハ、御指摘ノヤウナ氣持モアリマシマス、又必要ナル食糧増產ヲ確保セネバナラス現實ノ必要モアリマス、隨テ、鑛業鑛山方面ニ必要ノ非常ニ多數ノ勞務者ヲ、農村ノ方面デ得ラレルト云フコトモ中々難カシイト思ハレマス、又中小商工業者ノ轉廢業スル者ヲ以テ之ニ振向ケルト云フ事柄モ、御指摘ノ如ク中々容易ナ問題デハナイト思ヒマス、併シ目前ノ事態——來

工業立地ノ問題ヲ考ヘテ色々工場ノ分布ヲ考ヘルト云フ大キナ計畫ハ別トシテ、兎ニ角目前ノ問題トシテドウスルカト云フコトニナリマス、結局國內カラ、殊ニ農村ノ方カラモ、不自由デハアリマセウガ或ル程度ノ補給ヲ受ケ、又中小商工業方面ノ轉廢業者ノ、非常ニ多數ノ者ガコツチニ行クト云フコトモ困難デアリマセウケレドモ、其ノ一部ヲ斯ウ云フ方面ニ振向ケルト云フコトモ亦考ヘナケレバナラス、又相當大

キナ補給源トシテハ、半島民ヲ入レテ來ルト云フ事柄モ現在行ハレテ居リマシマス、將來ニ於キマシテモヤハリ是ハ大キナ補給源トシテ考ヘラルベキモノデアルト思ヒマス、併シ是等ヲ考ヘテ見マシテモ、將來ノ石炭増產又金屬増產ノ爲ニ必要ナ勞働力ト云フモノガソレデ十分デアルカドウカト云フ點ハ、中々ソレデ十分ダトモ申上ゲ兼

ネルノデアリマス、ドウシテモ内ニ於テ是等ノ鑛山ニ於ケル能率ノ増進、隨テ鑛山ノ機械化等ノ方策モ併セ講ジテ、山ニ於テ能率ヲ落サズニ、而モ勞働力ヲ多量ニ要シナイト云フヤウナ事柄ニ付キマシテモ考慮シテ行カナイト、中々補給ガ十分ニ行クト云フ確乎タル目標ガ立チ得ナイ現狀ニ於キマシテハ、兩方ヲ併セ行フ外ニハナカラウト思ツテ居リマス

○川俣委員 ソレハ其ノ御答辯デ満足ヲ致シマス、今度ハ具體的鑛業開發ノ内容ニ互ツテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、鑛發ノ使命ハ所謂休眠鑛區ヲシテ活發ナル活動ヲゼシメ、鑛物ノ採取ニ當ラシメタイト云フノデアリマスガ、帝國鑛發ガ投資シテ居リマス四社——昭和鑛業ヲ入レテ「マンガン」ヲ拔キマスケレバ四社アリマシマス、此ノ四社ノ鑛區ハ相當豐富ナ鑛區ヲ設定シテ居ル筈デアリマス、是等ハ餘リ活動致シテ居ラナイヤウニ私共ハ見受ケルノデアリマス、餘リ活動シテ居ナイト云フヨリモ、殆ド九割以上ハ休眠狀態デアルト思ツテ居リマス、サウシマスレバ休眠鑛區ノ開發ガ使命デアルニ拘ラズ、持ツテ居リマス自分ノモノト、投資シテ居リマス會社自體ニ休眠鑛區ヲ持ツテ居ルト云フ矛盾ガアルノデヤナイカト思ヒマスガ、之ニ對シテ如何ニ御考ヘニナツテ居

リマスルカ

○津田政府委員 只今御話ノ帝國鑛發ガ投資ナリ融資ヲシテ居リマスル會社、御手許ニ差上ガテアリマスル帝國鑛業開發株式會社ノ現況ト云フ資料ノ中ニ、如何ナル山ヲ經營シ、如何ナル山ニ融資シテ居ルカト云フコトヲ書イタモノヲ一應差上ガテアル譯デゴザイマス、其ノ投資サレテ居リマスル會社ハ昭和鑛業外四社ニ相成ツテ居ル譯デアリマス、其ノ中デ昭和鑛業アタリガ休眠鑛區ヲ持ツテ居ルデヤナイカト云フ御尋ネダラウト思ヒマス、所ガ此ノ昭和鑛業自體ニ致シマシテモ、御承知ノヤウニ鑛發ガ此ノ經營ニ參加致シマシテ其ノ内容ノ改善ヲ圖ルト云フコトニ決マリマシテカラマダ日ガ淺イノデアリマシテ、漸次昭和鑛業會社自體ニ付テモ事業ノ内容ガ充實致シマスルヤウニ、鑛發ト致シマシテモ大イニ力ヲ盡シテ居ル譯デゴザイマス、隨テ今申上ガマシタヤウニマダ日ガ淺イ關係デ、中ニハ休眠鑛區ト云ツタヤウナモノガ依然トシテ殘ツテ居ルト云フヤウナコトモアル譯デゴザイマ

スガ、今後此ノ鑛發ノ増資ト云フコトト關聯致シマシテ、將來ハ資金ノ充實致シマスニ連レテ、鑛發ト致シマシテモ此ノ投資會社ノ中ニ有望ナ鑛區デ休眠鑛區ガアルト云フヤウナコトノナイヤウニ指導シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○川俣委員 當然ナコトダと思フノデス、ソレニハ昭和鑛業ト云フモノハ相當大キナ鑛區ヲ擁シテ居ルガ、其ノ調査ト云フモノガ必ズシモ十分デヤナイト私ハ思フノデス、ソコデニ投資シタコトガ良イカ悪イカト云フコトヲ此處デ議論スルノデハナクシテ、是等ノ投資致シテ居ル所ノ昭和鑛業

ノ鑛區自體ヲ調査致スニ致シマシテモ、現在ノヤウナ規模ニ於テハ技術員ヲ得ラレナイ、鑛發ノ機構ヲ増大致シマシテモ技術員ヲ十分得ラレナイデハナカラウカ、得ラレナイ結果、投資致シテ居ル所ノ昭和鑛業ナドニ付テモ休眠鑛區ヲ持ツテ居ルヤウナ状態ニナツテ居ルノダ、斯ウ思ハレル、ソレトモウツハ今度新シイ鑛業法ニ基イテ試掘權ガ四年デ消滅致スノデアリマスガ、四年デ消滅スルヤウナ鑛區ヲ澤山持ツテ居ル昭和鑛業ニ、今はダケ多クヲ投資致シテ居ルノデアリマス、其ノ可否ハ別ト致シマシテ、政府ノ監督致シテ居ル所ノ帝國鑛發ガ、一方ニ於テ其ノ監督法規デアル所ノ鑛業法ノ改正ノ趣旨ニ副ハナイデ、ソレヲ棄テナケレバナラナイト云フヤウナコトニナリマスルト、資産ノ上ニモ非常ナ影響ヲ來スト思フノデス、其ノ影響ヲ來サナイ爲ニハ、相當ナ技術員ヲ豊富ニ保有シナケレバナラナイト云フコトニナツテ來ルガ、ソレガ中々得難イコトモアルノデヤナイカ、斯ウ云フ點ニ付テハ何カ考ヘテ居リマスカドウカ、其ノ點ヲ御尋ネ致シテ置キマス

○津田政府委員 帝國鑛業開發會社ト致シマシテモ、只今御話ノヤウニ技術員ガ非常ニ不足シテ居ルト云フコトハ確カニ其ノ通りデゴザイマスガ、今後只今御審議願ツテ居リマシヤウナ増資ガ出來ルコトニナリマスルト共ニ、各鑛山ノ中ニ於キマシテ帝國鑛發ニ委任經營ヲシテ貰フト云フヤウナ山ガ相當ニ出テ參ル譯デアリマス、ソレ等ノ受託經營ヲ致スコトニナリマシタ鑛山ヲ經營シテ居リマス會社ノ技術員ヲ、相當各鑛山ノ間ニ融通シテ行クト云ツタヤウナコトデ、鑛發ガ力ヲ入レテ經營シテ行カナケレ

バナラスト云フ山ノ方ニハ相當優秀ナ技術員モ集メ得ルノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス

○川俣委員 此ノ鑛發ノ最初出來マシタノハ、御承知ノヤウニ外國鑛石ノ輸入ガ出來ナイノデ、犧牲的ニ國內鑛山ノ開發ニ當ルト云フノガ大體此ノ鑛發ノ出來マシタ所以デアリマス、外國鑛石ガ入ラナイ結果、其ノ損失ヲ此處デ何トカシヨウト云フコトガ二ツノ目的デアリマスガ、今日南ノ方ノ問題ガ開ケテ參リマス、其ノ考ヘ方ヲ變ヘテ、鑛發ヲ具體的ニソレニ參加セシメテ、ソチカラ上ツテ來ルモノヲ以テ内地ノ鑛業開發ニ向ケルト云フヤウナ考ヘ方ガ出來ルノデハナイカト思ヒマスガ、其ノ考ヘ方ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイ

○岸國務大臣 南方諸地域ノ鑛業開發ノ問題ニ關シマシテハ、先達テ豫算總會デ企畫院總裁ヨリ政府ノ樹テテ居リマス根本ノ方針等ニ付テ申述セラレテ居リマスガ、現在ノ所ニ於キマシテハ、兎ニ角一面マダ作戰ガ行ハレテ居ル狀況デアリマシテ、總テ其ノ作戰ニ對應シテ臨時的ナ措置ガ講ゼラレテ居ルニ過ギナイノデアリマス、根本的ノ開發方針ト云フモノハ今後考ヘテ行カナケレバナラスト思ハレルノデアリマス、而シテ御承知ノ通り鑛山ニ付キマシテハ、鑛山統制會ガ設立ヲ見テ居リマシテ、此ノ統制會ノ使命ニ鑑ミマシテ、南洋方面ニ於ケル將來ノ鑛山開發ノ根本策ニ付テハ十分鑛山統制會ノ意見モ聽キ、又其ノ實際ノ責任ニ付キマシテモ、鑛山統制會ニ相當ノ責任ヲ取ツテ貰ツテ、是ガ開發ヲ進メテ行クベキモノダト考ヘマス、而シテ鑛發自體ノ國策會社タル使命ニ鑑ミマシテ——勿論之ヲ設立致

シマシタ時ニ、又今日ニ於キマシテ南方方面ニ進出スルト云フコトヲ其ノ目的トシテ出來タ譯デモナケレバ、今日存在シテ居ル譯デモアリマセヌケレドモ、其ノ鑛發ノ國策會社タル使命ニ鑑ミマシテ、今後南方諸地域ノ鑛業開發ニ關聯シテ、帝國鑛發ノ活動分野ト云フモノモ自ラ事態ニ應ジテ擴ガツテ行カナケレバナラスト問題ダト考ヘテ居リマス、ソレヲ如何ナル形式ニ於テ、ドウ云フ仕組デヤルカト云フ問題ニ關シマシテハ、モウ少シ各方面ノ意見モ聽キ、政府ノ確平タル方針ヲ決メタ上デ其ノ活動ノ方式ト云フモノヲ決定致シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○川俣委員 農林省關係其ノ他ヲ殘シマシテ、今日ノ最後ノ一點トシテ申上ガタイト思ヒマスガ、私ハ帝國興發ガ相當熱心ニ鑛山ノ開發ニ當ツテ居ラレト云フコトハ認メルノデアリマスケレドモ、此ノ會社ノ狀態ガ、重役ガ合議制ダト云フヤウナコトデハ、ドウモ餘リ活潑ニ會社ガ運營出來ナイヤウニ見受ケラレルノデアリマス、機構ヲ改革致シマシテ、十分政府ノ意ノアル所ヲ實行セシメルヤウナ機構ニ變ヘテ行カナケレバナラストデハナイカ、折角茲ニ新シイ改正案ヲ出サレマシテモ、其ノ運用宜シキヲ得ナケレバ所期ノ目的ガ達成サレナイト思フノデアリマス、其ノ任ニ當ツテ居ラレル人ハ相當ニ優秀ナ人モ當ツテ居ラレマスノデ、私ハ露骨ニ言フナラバ出來ルダケ責任者ニハ責任ヲ持ツテ處理サセル方ガ宜シイト思フ、唯成立チノ上カラ、横カラ入ツテ來タヤウナ形デ、其ノ重役ニ掣肘ヲ受ケナケレバナラナイヤウデアリマスレバ、責任ノ存在モ私ハ十分デナイト思フ、ヤハリ思フ存分社長ナラ社長或ハ社長副社長ト共

同デ責任ヲ負ハセテ惡ケレバドン／＼送ヘテ行ク、色々ナ關係デ出來タ重役ニ何時モ掣肘ヲ受ケテ居リマシテハ責任ノ存在ガナイ、若シモ責任ヲ負ハナイヤウナ社長デアリマスナラバ送ヘタ方ガ宜シイ、信任サレルナラバ其ノ人ノ手腕ニ期待サレタ方ガ宜イ、私ハ斯ウ思フノデアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテ御答辯ヲ願ヒマス、

○岸國務大臣 御話ノ如ク一般國策會社ノ運用ト致シマシテ私ノ現在執ツテ居リマス方針ハ社長其ノ他中心ニナル所ニ最モ信頼スベキ經營能力ノシツカリシタ人ヲ据エテ、其ノ人ニ全權ヲ委シマシテ、サウシテ思フ存分働イテ貰フト云フ事柄ガ、國策會社ノ能力ヲ十分ニ發揮スル最モ捷徑ダト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ國策會社ノ首腦部ノ人事ニ付キマシテハ、特ニ意ヲ用ヒテ居ル譯デアリマス、今後ノ續發ノ運用ニ付キマシテモ社長ヲ信頼シテ、サウシテ十分其ノ手腕ヲ揮ヒ得ルヤウニ指導シテ、色々ナ事柄ニ干涉スルトカ、或ハ役員ノ人事等ニ付キマシテモ、色々ナ關係カラ、十分ニ能力ヲ發揮シテ社長トシテ信頼シテ社務ヲ遂行スルノニ適當デナイト云フヤウナ重役陣ヲ、他ノ方面カラ押付ケルト云フヤウナ事柄ニ付テハ、特ニサウ云ツタコトノナイヤウニ運用シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○川俣委員 ソレデハ私ハ今日ハ是デ終リマス

○上田委員長 ソレデハ明日ハ引續イテ午前中國策會社三案ノ質問ヲ續ケテ行キタイト思ヒマス、ソレデ大體質問ガ盡キレバ、明日ノ午後カラ更生金庫ト重要物資ノ案ノ質問ニ入ルコトニシタイト思ヒマス、本日

ハ是デ散會シマシテ、明日午前十時ヨリ委員會ヲ開キマス
午後四時四十五分散會

昭和十七年一月二十七日印刷

昭和十七年一月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局